令和２年度

事業報告書

日本赤十字社 大阪府支部
Japanese Red Cross Society

は　じ　め　に

平素は、日本赤十字社大阪府支部の活動に格別のご支援、ご協力をいただいておりますことを、厚くお礼申し上げます。

日本赤十字社では、「救うを託されている。」を合言葉として、災害時の救護活動だけではなく、災害時の被害を少しでも軽減するために地域や学校における防災・減災への取り組みを強化しています。また、いのちと健康を守る知識と技術を伝える救急法講習などの普及、ボランティア活動の支援や青少年赤十字活動を通じた青少年の育成、地域防災活動の促進など皆さまにより身近な活動を続けております。

「救いたい」という気持ちが結集したとき、想像を超える大きな力が生まれます。その“うねり”を原動力とする「運動体（Movement）」の赤十字は、紛争、災害、病気、傷害、貧困などに悩む人々を「救う」ため、研鑽を重ね、持てる力を発揮します。

ここに令和２年度に実施いたしました各種事業内容をご報告申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での活動が制限される中、文書での審議やオンラインでの開催等、新たな生活様式に対応した形で、各種講習・研修・イベント等を実施しました。

皆さまにおかれましても、今後とも赤十字運動への一層のご理解とご支援をお願いいたします。

お気づきの点など、ご意見をお寄せいただければ幸いです。

令和３年６月

日本赤十字社大阪府支部

目　次

はじめに

1　国内災害救護 …… 4
1 救護班・救護員の登録状況 …… 4
2 救護員の派遣 …… 4
3 大阪府調整本部への支援活動 …… 5
4 こころの健康相談 …… 5
5 救護訓練の実施状況 …… 5
6 救護員研修会の実施状況 …… 6
7 大規模災害用救援物資の備蓄 …… 6
8 支部救護資機材等の整備 …… 7
9 街頭救急箱の設置 …… 7
10 義援金の受付 …… 8

2　国際活動 …… 9
1 国際救援・開発協力要員の登録状況 …… 9
2 国際救援要員の派遣 …… 10
3 支部の国際活動への参加 …… 10
4 海外救援金 …… 10

3　赤十字ボランティア …… 11
1 赤十字ボランティアの現況（登録状況） …… 11
2 地域赤十字奉仕団の活動 …… 13
3 特殊赤十字奉仕団の活動 …… 14
4 青年赤十字奉仕団の活動 …… 16
5 個人ボランティアの活動 …… 17
6 他団体との連携・協力事業 …… 19

4　青少年赤十字 …… 22
1 加盟の現状 …… 22
2 青少年赤十字の活動推進（会議等の開催） …… 25
3 青少年赤十字指導者の育成（講習会等の開催） …… 25
4 青少年赤十字メンバーの育成 …… 26
5 国際交流 …… 26
6 募金活動等の状況 …… 27
7 新型コロナウイルス感染症の流行に伴う、その他活動 …… 27
8 青少年赤十字体験学習プログラム／出前講座 …… 27
9 青少年赤十字健康安全プログラム等実施状況 …… 29
10 青少年赤十字福祉体験学習プログラム等実施状況 …… 30
11 青少年赤十字国際理解・平和学習プログラム実施状況 …… 32
12 青少年赤十字防災教育プログラム実施状況 …… 34

5　救急法などの講習 …… 36
1 救急法 …… 36
2 水上安全法 …… 36
3 健康生活支援講習 …… 37
4 幼児安全法 …… 37
5 「赤十字防災啓発プログラム」講習 …… 38

6　医療事業 …… 39
1 業務実績 …… 39
2 支部による支援（救護用医療機器及び救急医療体制整備） …… 40

7　看護師などの教育 …… 41
1 大阪赤十字看護専門学校 …… 41
2 赤十字看護大学の学生への奨学金貸与 …… 41

8　社会福祉 …… 42
1 大手前整肢学園 …… 42
2 支部による支援（社会福祉施設の整備） …… 42

9　血液事業 …… 43
1 献血状況累計 …… 43
2 血液製剤の供給本数 …… 43
3 支部による支援（採血受入機関の整備等） …… 43

10 活動資金の募集 …… 44
1 財政基盤の強化 …… 44
2 活動資金（社資）募集実績表 …… 44
3 会員数 …… 46
4 日赤地区分区事務担当者等会議・研修会 …… 46

11 赤十字の広報 …… 47
1 広報物の作成 …… 47
2 マスメディア等による広報 …… 48
3 イベントによる広報（赤十字ブースの出展） …… 49
4 その他 …… 49

12 赤十字思想及び国際人道法の普及 …… 50
1 国際人道法の普及 …… 50

13 評議員会 …… 51
1 開催状況 …… 51

14 赤十字大会 …… 52
1 表彰者の内訳 …… 52

15 会計 …… 53
1 活動資金の収入支出 …… 53

16 支部の機構と役職員 …… 54
1 機構 …… 54

17 大阪日赤有功会 …… 56
1 活動資金募集協力 …… 56
2 赤十字活動への支援 …… 56
3 修学奨励 …… 56
4 創立50周年記念事業 …… 57
5 会報誌の発行 …… 57
6 広報紙「日赤大阪」等の配付 …… 57
7 総会の開催（文書審議） …… 57
8 常任委員会の開催（文書審議） …… 57

1　国内災害救護

近年、災害は頻発化・激甚化・広域化することが増え、近畿では南海トラフ地震など甚大な被害を及ぼす災害が予想されています。

このため当支部では、災害救護活動をより効果的に実施するために、救護員の資質向上を目標とした研修や訓練を実施し、救護体制及び救護資機材の整備に積極的に取り組んでいます。

令和２年度は新型コロナウイルスの軽症者等に係る宿泊療養施設（ホテル）での受け入れ支援のため、救護員（医師、看護師、薬剤師）を派遣しました。また、新型コロナウイルス感染症拡大によるひっ迫した医療状況と救護員の安全に配慮したインターネット上での研修（動画配信型）を実施しました。感染症まん延下においても災害救護活動が実施できるような体制を構築しています。

1　救護班・救護員の登録状況

（令和2年4月1日現在）

支部・施設	班数	救護班要員（人）							血液供給要員	災害対策本部要員	計（人）
		医師	看護師長	看護師	主事	助産師	薬剤師	その他			
支部	－	－	－	－	－	－	－	－	－	29	29
大阪赤十字病院	15	23	15	29	47	2	10	－	－	－	126
高槻赤十字病院	5	5	5	10	10	1	5	5	－	－	41
血液センター	－	－	－	－	－	－	－	－	99	－	99
計	20	28	20	39	57	3	15	5	99	29	295

2　救護員の派遣

大阪府からの派遣依頼に基づき、新型コロナウイルスの軽症者等に係る宿泊療養施設（ホテル）での受け入れ支援のため、救護員（医師、看護師、薬剤師）を派遣しました。

派遣場所	派遣期間	活動内容	派遣施設（延べ人数）		
			大阪ＨＰ	高槻ＨＰ	計
大阪市西区	４月14日～21日	軽症者等の健康管理	21	5	26
大阪市住之江区	４月22日～25日	軽症者等の健康管理	6	3	9
計		２施設	27	8	35

3 大阪府調整本部への支援活動

大阪府からの派遣依頼に基づき、新型コロナウイルス感染者の入院先調整業務等を支援するため、大阪府調整本部（入院フォローアップセンター）へ当支部職員（看護師）を派遣しました。

派遣期間	活動場所	派遣延べ人数（人）
4月6日～5月19日	大阪府庁	29
7月29日～9月30日	大阪府庁	26
11月2日～2月18日	大阪府庁	49

4 こころの健康相談

新型コロナウイルス感染症に対する不安や自粛に伴う悩み事に対し、「こころの健康相談」窓口を開設し、電話やビデオ電話で相談を受け付けました。

実施期間	相談件数	対応者
5月8日～3月31日	13件	こころのケア指導者（支部職員）

5 救護訓練の実施状況

主催		実施日	訓練の名称	会場	参加施設（人）				
					大阪病院	高槻病院	血液センター	支部	計
赤十字	大阪赤十字病院	10月1日	大阪赤十字病院 院内災害訓練	大阪赤十字病院	多数				多数
赤十字	高槻赤十字病院	10月31日	高槻赤十字病院訓練	高槻赤十字病院		多数			多数
行政	大阪府・八尾市	7月20日	コロナ禍における 避難所運営訓練	八尾市	1	－	－	6	7
行政	大阪府・堺市	7月22日		堺市	1	－	－	7	8
行政	近畿地方整備局 堺市	11月5日	大規模津波 総合防災訓練	堺泉北港堺2区 基幹的広域防災拠点	－	－	－	5	5
その他	関西国際空港	8月20日	関西国際空港航空機事故 医療活動部分訓練	関西国際空港	－	－	－	1	1
その他	関西国際空港	10月22日	関西国際空港航空機事故 消火救難総合訓練	関西国際空港	－	－	－	1	1
その他	大阪国際空港	10月15日	大阪国際空港 航空機事故対策 医療救護活動部分訓練	大阪国際空港	－	1	－	2	3
計				8回	2以上	1以上	－	22	25以上

（注）検証・オブザーバー参加、来賓参加を除く

6 救護員研修会の実施状況

主催	実施日	研修の名称	会場	参加施設（人）				
				大阪病院	高槻病院	血液センター	支部	計
支部	４月１日	災害対策本部要員基礎研修会	大阪赤十字会館				2	2
	９月11日	資機材習熟研修会	大阪赤十字病院	－	－	－	8	8
	２月19日			－	－	－	9	9
	７月８日	災害対策本部要員研修会	大阪赤十字会館	－	－	－	18	18
	通年	中型免許安全運転研修	関目自動車学校	6	－	－	－	6
	12月～２月	救護員研修会（感染対策）	オンライン	192	13	9	22	236
計			５回	198	13	9	59	279

（注）研修スタッフの参加を除く。

7 大規模災害用救援物資の備蓄

（令和3年3月31日現在）

⑴ 災害救助法が適用される災害時に配付する物資

大阪赤十字病院の「日本赤十字社災害拠点病院ロジスティクス・センター」及び高槻赤十字病院の「高槻赤十字病院災害救護倉庫」に備蓄しています。

救援物資の種類	備蓄数
毛　　布	７，２００枚
緊急セット	１，８６６個
安眠セット	５５５個

⑵ 災害救助法が適用されない地震、風水害、火災、その他の災害に配付する物資

大阪府支部の「救護倉庫」及び各地区・分区の倉庫等に備蓄しています。

救援物資の種類	備蓄数
毛　　布	１，３９７枚
日用品セット	２９６個

8 支部救護資機材等の整備

救護資機材を計画的に整備、更新しました。

品名	数量	用途
救護用装備品	一式	救護員の装備（救護服・ヘルメット等）を整備するため
情報通信機器	１台	災害時に円滑に情報収集及び情報共有を行うため
多用途ジャンプスターター	１台	救護車両の不測の事態に備えるため
救援物資（日用品セット）	110セット	府内で災害発生時の救援物資を整備するため
ｄＥＲＵ※1用床パネル	49枚	傷病者を車椅子やストレッチャーでスムーズに移動させるため
薬品用保冷庫	４台	災害現場で調剤薬を適切な温度で保管するため
非常食※2	約100人分	救護員の食料を確保するため
発動発電機点検・修理	６台	災害用発電機の点検・修理するため
赤十字業務無線機点検・整備	５台	災害用の業務用無線機を点検及び次世代規格への対応するため
救護倉庫外壁改修	一式	当支部救護倉庫の外壁を改修するため
ｄＥＲＵ用空調機点検・修理	２台	多用途大型テントの空調機点検・修理するため

※１　ｄＥＲＵ（domestic Emergency Response Unit）：国内における大規模災害等で医療救護活動を行うことを想定した緊急仮設診療所用の資機材と要員。
※２　救護員用として、約500人分を備蓄しており、ローリングストック法により毎年購入しています。

9 街頭救急箱の設置

応急手当を必要とする府民の利用に供することを目的に、府内の警察署や交番などに救急箱を設置しています。

設置先	設置数（個）	備考
大阪府警察本部	936	府内各警察署、交番などに設置

10 義援金の受付

名称	件数(件)	受付額(円)
東日本大震災義援金	138	2,755,600
平成28年熊本地震災害義援金	113	1,479,288
平成29年７月５日からの大雨災害義援金	13	188,897
平成30年７月豪雨災害義援金	26	1,388,863
令和元年８月豪雨災害義援金	43	190,825
令和元年台風第15号千葉県災害義援金	40	253,316
令和元年台風第19号災害義援金	158	2,823,769
令和２年７月豪雨災害義援金	242	31,456,940
令和３年２月福島県沖地震災害義援金	5	11,801
計　9件	778	40,549,299

2　国際活動

日本赤十字社はスイスのジュネーブにある赤十字国際委員会、国際赤十字・赤新月社連盟や各国の赤十字社・赤新月社と連絡を取り合って、武力紛争の犠牲者や自然災害の被災者に対して緊急に救援活動を行うとともに、保健衛生事業や防災事業などの中・長期の視野に立った開発協力事業を実施しています。

当支部でも、国際的な視野を持った救援要員の養成及び保健医療支援などの国際活動を積極的に行っており、大阪赤十字病院は日本赤十字社の「国際医療救援拠点病院」に指定されています。令和２年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、海外への派遣は行っていませんが、本社主催のオンライン研修などを受講し、海外における救援活動を迅速に実施できる体制を構築しています。

1　国際救援・開発協力要員の登録状況　（令和3年3月31日現在）

支部・施設等	医師	看護師助産師	管理要員（含コメディカル）	計（人）
支部	－	－	4	4
大阪赤十字病院	6	10	10	26
高槻赤十字病院	0	1	0	1
血液センター	0	0	0	0
ボランティア等	0	0	0	0
計	6	11	14	31

2 国際救援要員の派遣

新型コロナウイルス感染症が世界的に流行したため、日本赤十字社では、派遣中の国際救援要員を帰国させ、令和２年度は新たな国際救援要員を現地へ派遣することを見合わせました。しかしながら、医療支援事業を継続するためには技術的支援や関係者との各種調整などが必要であるため、リモート派遣（日本からの遠隔支援）による支援を行っています。

名　称	派遣先	派遣形態	派遣期間	所属施設	派遣要員	計（人）
パレスチナ赤新月社医療支援事業	パレスチナ暫定自治区	リモート派遣	令和２年３月～令和３年３月	大阪赤十字病院	医師　１人	3
			令和２年３月～		看護師　１人	
			令和３年２月～３月		看護師　１人	
	レバノン共和国	リモート派遣	令和２年３月～令和３年３月	大阪赤十字病院	医師　１人	2
			令和２年３月～		看護師　１人	
計					１事業	5

3 支部の国際活動への参加

事業名	国名	支援金額（円）	備考
救急法普及支援事業	東ティモール民主共和国	25万	平成25年度より実施
コミュニティ防災事業	インドネシア共和国	100万	平成30年度より実施
計　２事業		125万	

4 海外救援金

名称	件数(件)	受付額(円)
中東人道危機救援金	2	1,961
バングラデシュ南部避難民救援金	3	36,326
計　２件	5	38,287

3　赤十字ボランティア

赤十字奉仕団とは、赤十字の使命である人道的な諸活動を実践しようとする人々が集まって結成された、ボランティア組織です。昭和23年に創設された赤十字奉仕団は、現在に至るまで、その時代にふさわしい先駆的な活動を展開しています。

赤十字奉仕団には、地域ごとに組織されている「地域赤十字奉仕団」、若者によって組織されている「青年赤十字奉仕団」、無線や災害救護、看護、語学など特殊な技能をもった人たちによって組織されている「特殊赤十字奉仕団」があります。また、個人で赤十字活動に参画されている個人ボランティアのグループもあります。

赤十字の活動は、こうしたボランティア活動によって支えられています。

裁縫ボランティア

1　赤十字ボランティアの現況（登録状況）　（令和3年3月31日現在）

(1) 地域赤十字奉仕団

	市区町村数	奉仕団数	団員数（人）		
			男	女	計
区	31	31	107,348	92,409	199,757
市	31	31	264,208	230,671	494,879
町	9	9	138	168	306
村	1	1	13	0	13
計	72	72	371,707	323,248	694,955

(2) 特殊赤十字奉仕団

奉仕団名	団員数（人）		
	男	女	計
日本赤十字社大阪府支部芸能奉仕団	20	23	43
大阪赤十字安全事業指導奉仕団	61	50	111
日本赤十字社大阪府支部機動救助奉仕団	38	4	42
日本赤十字社大阪府支部 大阪府歯科医師自動車連盟救助奉仕団	18	3	21
日本赤十字社大阪府支部語学奉仕団※	―	―	―
日本赤十字社大阪府支部写真奉仕団	10	3	13
大阪赤十字病院奉仕団	17	40	57
日本赤十字社大阪府支部看護奉仕団	1	17	18
近畿大学赤十字奉仕団	63	58	121
大阪府歯科衛生士会赤十字奉仕団	0	83	83
大阪府ビューティーケア赤十字奉仕団	2	135	137
大阪府青少年赤十字賛助奉仕団	44	8	52
高槻日赤技能奉仕団	3	19	22
計　13団	277	443	720

※　令和２年４月１日より日本赤十字社大阪府支部語学奉仕団は休団。

(3) 青年赤十字奉仕団

奉仕団名	団員数（人）		
	男	女	計
大阪府青年赤十字奉仕団	13	16	29
大阪赤十字看護専門学校学生赤十字奉仕団※	0	41	41
玉手山学生赤十字奉仕団	5	43	48
大阪産業大学学生赤十字奉仕団	30	3	33
計　４団	48	103	151

※　令和２年11月５日をもって大阪赤十字看護専門学校学生赤十字奉仕団は廃団。

(4) 個人ボランティア

ボランティア名	人数（人）		
	男	女	計
赤十字防災ボランティア	51	15	66
裁縫ボランティア	0	34	34
救急法指導ボランティア	9	8	17
健康生活支援講習指導ボランティア	2	19	21
幼児安全法講習指導ボランティア	5	21	26
子育て支援ボランティア	1	31	32
計　６グループ	68	128	196

2 地域赤十字奉仕団の活動

(1) 支部主催

行事名	実施日	場所	参加者（人）	内容
ボランティア 基礎研修会	９月28日	大阪赤十字会館	34	・赤十字のしくみと活動 ・赤十字活動資金の募集 ・日本赤十字社の災害救護活動 ・地域で展開できる赤十字活動 「健康生活支援講習 ～生き生き長生きを目指して～」
ボランティア リーダー研修会（１）	10月26日	大阪赤十字会館	34	・献血の現状について ・赤十字防災啓発プログラム（講義） ～巨大地震への備え～大切な人のいのちを守る ・新型コロナウイルスの３つの顔を知ろう！ ～負のスパイラルを断ち切るために～（講義）
ボランティア リーダー研修会（２）	11月17日	大阪赤十字会館	29	・日本赤十字社の現状 ・奉仕団のリーダーに求められるもの 大阪教育大学教育協働学科 教授　新崎国広氏（講演）
計		３回	97	

(2) 地区主催施設見学研修会等の開催

奉仕団名	実施日	場所	内容
阪南市赤十字奉仕団	３月23日	阪南市 防災コミュニティセンター	日赤大阪府支部の活動について
計			１団　１回

(3) 地域赤十字奉仕団大会・総会の開催

実施日	地区名	場所	種別
【大阪市】			
10月20日	平　野　区	平野区民ホール	大会（縮小開催）
10月29日	西淀川区	西淀川区民ホール	大会（縮小開催）
計			２回

3　特殊赤十字奉仕団の活動

⑴ 日本赤十字社大阪府支部芸能奉仕団

プロの芸能人により組織された奉仕団で、大阪府内の高齢者福祉施設などを訪問している。漫才、マジック、曲芸、大神楽、浪曲、落語、歌謡ショーなど、多彩な演芸種目を披露して人々に笑顔を届けている。

ア　地域での活動

イ　年末訪問活動（高齢者・乳幼児等福祉施設）

⑵ 大阪赤十字安全事業指導奉仕団

救急法、水上安全法などの指導を通して、一人でも多くその知識や技術を習得し、安全な市民生活が営まれるよう努力している。

ア　救急法講習（短期）

イ　救急法講習（基礎講習）

ウ　救急法講習（救急員養成講習）

エ　水上安全法講習（短期）

オ　水上安全法講習（救助員養成講習Ⅰ）

カ　水上安全法講習（救助員養成講習Ⅱ）

キ　ボランティア・フェスティバルなど、普及イベントの実施

⑶ 日本赤十字社大阪府支部機動救助奉仕団

災害時に無線技術を用いて災害救護活動に協力、また日頃から災害に備えた訓練などを実施している。

ア　各種訓練、行事への参加（全国無線奉仕団との通信訓練など）

イ　業務無線伝搬調査

⑷ 日本赤十字社大阪府支部大阪府歯科医師自動車連盟救助奉仕団

歯科医師の技術を活かし、機動力のある自動車を駆使して災害時の救護活動をする目的で結成された。救急法講習会の開催、器具の点検や薬品の整備など災害に備えている。

⑸ 日本赤十字社大阪府支部語学奉仕団

府内在住の外国人を対象に「日本語教室」を定期的（毎週木曜19時～21時）に開催し、日本語能力の向上に寄与していたが、団運営者の不足により令和２年４月より活動休止中。

⑹ 日本赤十字社大阪府支部写真奉仕団

赤十字関係行事での写真撮影、記録を通じて、赤十字事業の普及を図る。

⑺ 大阪赤十字病院奉仕団

大阪赤十字病院内での受付案内や車椅子の移送介助、入院患者を対象とした院内図書活動などを行っている。また、福祉施設へ縫製したパジャマなどを届ける裁縫奉仕活動も行っている。

⑻ 日本赤十字社大阪府支部看護奉仕団

看護師（准看護師）免許をもつ者で組織されており、各種イベントで参加者が安全に過ごせるように保健活動を行っている。

ア　支部主催事業での保健活動
イ　青少年赤十字加盟校主催の宿泊学習での保健活動
ウ　府民が集うスポーツ大会等での保健活動

⑼ 近畿大学赤十字奉仕団

大学や青年赤十字奉仕団と連携を図り幅広い活動を行っている。

ア　学内での献血推進活動
イ　養護施設入所児童との交流
ウ　近大クリーンプロジェクト（大学構内及び大学周辺の清掃活動）

⑽ 大阪府歯科衛生士会赤十字奉仕団

福祉施設において、口腔衛生指導や口腔機能訓練を定期的に行い、公衆歯科衛生の普及向上を図っている。

ア　知的障がい児施設における口腔衛生指導
イ　視覚障がいリハビリテーションセンターにおける口腔衛生指導
ウ　イベントや健康展において歌遊びを交えた口腔衛生指導

⑾ 大阪府ビューティーケア赤十字奉仕団

福祉施設入所者に対し、ハンドケア、フェイシャルケアなどを施すことにより、ケアを受けた方が笑顔を取り戻し、生きる励みになるよう活動を続けている。

ア　福祉施設での活動
イ　ビューティーケア・ボランティア養成基礎講習会の実施
ウ　各種講演活動

⑿ 大阪府青少年赤十字賛助奉仕団

青少年赤十字指導者であった経験を活かし、新たな指導者やメンバーの育成に取り組んでいる。また、青少年赤十字活動の記録、広報を担い、事業の伸展に寄与している。

ア　青少年赤十字活動報告書の作成
イ　地域の学校訪問（青少年赤十字の普及と支援）
ウ　近畿ブロック、全国賛助奉仕団と連携した活動に参画

⒀ 高槻日赤技能奉仕団

健康生活支援講習で習得した技能をもとに、高槻市地域に根差した活動を行っている。

ア　高槻市が主催する行事での救護活動（応急手当）
イ　高槻赤十字病院内での活動（受付案内、足浴、洗髪、歩行介助）
ウ　健康生活支援講習会でアシスタントとして活動

4　青年赤十字奉仕団の活動

⑴ 大阪府青年赤十字奉仕団

18歳から30歳までの社会人や学生で組織されており、若者の感性を活かした行事を積極的に行っている。

ア　青少年赤十字行事へのスタッフ参加（トレーニングセンター、スタディーセンターなど）

⑵ 大阪赤十字看護専門学校学生赤十字奉仕団「あゆみ会」（令和２年11月５日をもって廃団）

執行部、院内図書班、献血班、児童養護施設高津学園班、大手前整肢学園班、手話班、点訳班、リーディング班の各班に分かれて活動しており、大阪赤十字病院や大手前整肢学園を中心に、入院患者（入所者）にとって快適な環境づくりに努めている。また、院外活動として児童養護施設や視覚支援学校を訪問し交流を深めている。

⑶ 玉手山学生赤十字奉仕団

ア　学内での献血推進活動
イ　特別支援学校入所児童との交流（保育ボランティア、ハイキング、運動会等）

⑷ 大阪産業大学学生赤十字奉仕団

ア　学内での献血推進活動
イ　大東市（大学の所在地）に住む障がい児童との交流

⑸ 奉仕団合同で行う活動

大阪府青年赤十字奉仕団、大阪赤十字看護専門学校学生赤十字奉仕団、玉手山学生赤十字奉仕団、大阪産業大学学生赤十字奉仕団、近畿大学赤十字奉仕団が協同して下記事業を行っている。

ア　大手前整肢学園児童との交流
　・一泊園外活動
　・一日園外活動
　・定期交流会（通称：ＯＳＴＥＫ）及び季節の行事（夏祭り、花火大会、クリスマス会など）

イ　児童養護施設入所児童招待プログラム「赤十字冬のつどい」

ウ　ＨＩＶ／ＡＩＤＳピア・エデュケーション（夏・冬の２回開催）

エ　防災ピア・エデュケーション

オ　国際ボランティア活動（通称：ＯＲＩＶＡ）
　・外国人観光客への防災普及活動
　・赤十字国際会議への派遣実績

カ　点字翻訳活動

キ　新入団員セミナーの開催（活動紹介、グループワークなど）

ク　大阪ＹＡＢＣ講座

ケ　募金活動（災害義援金）

5　個人ボランティアの活動

⑴ 防災ボランティア

普段から研修を重ねることで防災や災害救護について学び、災害時の被災者支援活動に活かしている。また、府民を対象に防災意識を啓発する活動を行っている。

ア　基礎研修会、実践研修会などの開催

イ　親と子の防災セミナーの実施

ウ　１日赤十字デー＠大阪880万人訓練（赤十字啓発イベント）への協力

エ　各種訓練への参加

オ　各奉仕団が主催する防災研修に参画

カ　地域赤十字奉仕団や青少年赤十字加盟校への防災プログラムの提供

キ　自主勉強会の実施（２カ月に１回）

⑵ 裁縫ボランティア

パジャマなどを縫製し、府内の社会福祉施設に届けている。

ア　高齢者向け施設へ寄贈…パジャマ、ひざ掛け、ティッシュカバーなど

イ　乳児院へ寄贈…パジャマ、よだれかけ、スモック、ボールなど
ウ　あいりん手作りマスクプロジェクトへの参加…手作りマスクの寄贈　1,757枚※

※令和３年２月１日現在の寄贈枚数

⑶ 子育て支援ボランティア

支部主催の「子育て支援ボランティア養成講座」を受講後に登録した個人ボランティアで、献血ルームでのお子様見守りサービスや、大阪赤十字病院小児病棟にて活動を行っている。

ア　大阪赤十字病院訪問（小児科病棟で絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなど）
イ　あべの献血ルームでの一時保育（お子様見守りサービス）の実施

6　他団体との連携・協力事業

⑴　１日赤十字デー（地域における赤十字啓発イベント）

災害からいのちをつなぐため、災害時に不足するとされる食の確保についてや防災啓発プログラムを各地域で普及。また、ＮＨＫウィズコロナ・プロジェクト「みんなでエール」キャンペーン事業にかかる「新型コロナウイルス感染症ガイド」（以下「ガイドブック」という。）を用いて、地域全体の同感染症への正しい理解を促進し、さらには不安な気持ちや差別、偏見などの広がりを防止する活動を展開。

協力地区分区	実施日	場所	内容
吹田市	９月４日	吹田市地域	災害食レシピの配布、 ガイドブックの配布
堺市中区	９月４日	堺市中区役所	災害食レシピの配布
池田市	９月１日～４日	池田市保健福祉総合センター	災害食レシピの配布、 防災パネルの展示、 ガイドブックの配布
守口市	９月４日	守口市駅前カナディアンスクエア	災害食レシピの配布、 防災パネルの展示、 ガイドブックの配布
豊能町	９月４日	豊能町役場	防災訓練の実施
熊取町	９月４日	熊取町役場、 熊取ふれあいセンター	災害食レシピの配布、 ガイドブックの配布
千早赤阪村	９月４日	村立いきいきサロン	災害食レシピの配布、 防災パネル展示、 ガイドブックの配布
大阪市大正区	10月27日	大正区コミュニティセンター	ガイドブックを活用した勉強会、 ガイドブックの配布
大阪市此花区	10月22日～26日	此花区役所、此花会館、 高見集会所等	ガイドブックを活用した勉強会、 ガイドブックの配布
大阪市住吉区	11月12日	住吉区役所	ガイドブックを活用した講演、 ガイドブックの配布
八尾市	２月２日	八尾市役所	ガイドブックを活用した講演、 ガイドブックの配布
高石市	２月12日	高石市役所別館	ガイドブックを活用した講演、 ガイドブックの配布
計			12ヶ所

⑵ おおさか災害支援ネットワーク（ＯＳＮ）

■定例会

団体名	実施日	場所	内容
おおさか災害支援ネットワーク	７月17日	大阪赤十字会館 オンライン併用開催	・新型コロナウイルス感染症を踏まえた災害支援について ・コロナ禍災害対応ガイドライン ・行政の取組みと協働した民間団体の支援のあり方について　等
	２月８日	オンライン開催	・令和２年７月豪雨災害 コロナ禍における災害支援「３者連携」はすすんだのか ・分野別課題（災害ＶＣ支援・ＮＰＯの連携・行政・３者連携）　等
計			２回

■大阪災害支援活動連携会議

令和２年４月１日より、大阪府内で大規模災害が発生した場合における被災者への迅速かつ円滑な支援を目的として、大阪府内の関係機関が平時から連携し、官民協働で施策の情報共有・推進を図るため設置。

構成団体は、大阪府、大阪府社会福祉協議会、おおさか災害支援ネットワーク（ＯＳＮ）世話役団体。当支部は、ＯＳＮ世話役団体の一員として参加。

実施日	場所	内容
６月19日	大阪府新別館北館	・運営要領の確認 ・各団体の活動状況報告、情報共有　等
11月６日	大阪府新別館北館	・各団体の活動状況報告、情報共有 ・令和２年度大阪府地震・津波災害対策訓練について ・コロナ禍における府域での被災者支援のあり方について　等
２月15日	大阪府新別館北館	・大阪府地域防災計画の修正内容について ・災害時における大阪災害支援活動連携会議構成団体の連携について ・コロナ禍におけるボランティア支援の輪の広げ方について　等
計		３回

⑶ 大阪府協同組合・非営利協同セクター連絡協議会（OCoNoMiおおさか）

令和２年７月14日より、大阪府内の協同組合及びＮＰＯ等の非営利協同セクターが相互に連携して共通課題の解決に取り組み、もって協同組合・非営利協同セクターの活動促進を目的とする。

構成団体は、大阪労働者福祉協議会、大阪府漁業協同組合連合会、大阪府森林組合、大阪府生活協同組合連合会、大阪府農業協同組合中央会、近畿労働金庫、大阪ボランティア協会、日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会センター事業団関西事業本部、及び、日本赤十字社大阪府支部。

実施日	場所	内容
７月14日	近畿ろうきん肥後橋ビル	・設立の集い
10月27日	近畿ろうきん肥後橋ビル	・ワーカーズコープ学習会 ・ワン・ワールド・フェスティバルの参加について
12月14日	オンラインミーティング	・ワン・ワールド・フェスティバルセミナーについて ・2021年国際協同組合デーに関連した取り組みについて ・協議会の略称について　等
１月29日	オンラインミーティング	・協議会の愛称決定 ・ワン・ワールド・フェスティバルセミナー開催確認について ・日本協働組合連携機構県域円卓会議について ・2021年国際協同組合デーに関連した取り組みについて　等
計		４回

■ワン・ワールド・フェスティバルセミナーオンラインプログラムへの参画

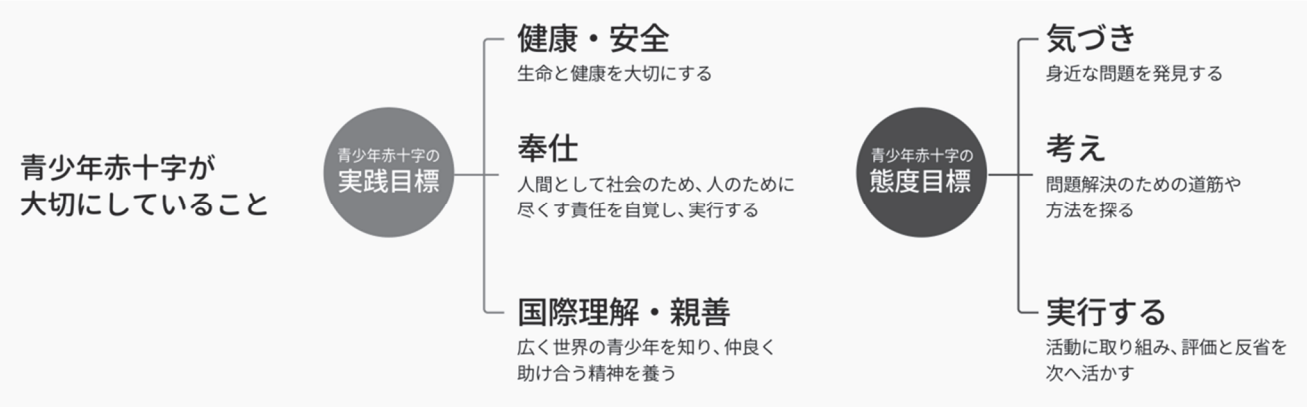
配信期間　令和３年２月６日～21日

「コロナ禍でのＳＤＧｓの取り組み」

4　青少年赤十字

青少年赤十字は、青少年が赤十字の精神に基づいて、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、青少年自身が日常生活の中で望ましい人格と精神を自ら形成することを目的としています。

この目的を達成するため、青少年にも分かりやすい三つの具体的な実践目標と望ましい態度目標を次のように掲げています。



上記の目標は、世界中の青少年赤十字に共通するもので、日本では学校教育の中で実践されています。

1　加盟の現状

(1) 登録状況

校　種	大阪府内の設置数	加盟校数　（増減）	加盟率	メンバー数
幼　稚　園	569 園	21 園　（ 0）	3.7%	1,175
認定こども園	614 園	2 園　（ 0）	0.3%	978
保　育　所	981 所	4 所　（ 0）	0.4%	390
小　学　校	996 校	331 校　（ 7）	33.2%	131,322
中　学　校	519 校	92 校　（ 7）	17.7%	33,492
高 等 学 校	256 校	48 校　（ 3）	18.8%	26,900
特別支援学校	50 校	9 校　（ 0）	18.0%	1,229
計	3,985 校園所	507 校園所　（17）	12.7%	195,486

出典　令和2年度「大阪の学校統計」学校基本調査速報/大阪府認可保育情報

(2) ブロック・市町村別登録状況

ブロック	協議会	市区町村	幼稚園（増減）	認定こども園（増減）	保育所（増減）	小学校（増減）	中学校（増減）	高等学校（増減）	特別支援学校（増減）	合計（増減）
大阪市	全体		0 (0)	0 (0)	0 (0)	28 (10)	6 (0)	8 (1)	2 (0)	44 (11)
	内訳	北区	0	0	0	5 (2)	0	1	1	7 (2)
		都島区	0	0	0	1	0	0	0	1
		福島区	0	0	0	1	0	0	0	1
		此花区	0	0	0	1	0	0	0	1
		中央区	0	0	0	0	0	1	0	1
		西区	0	0	0	0	0	0	0	0
		港区	0	0	0	1	0	0	0	1
		大正区	0	0	0	1 (1)	1 (1)	0	0	2 (2)
		天王寺区	0	0	0	2	0	0	0	2
		浪速区	0	0	0	0	0	0	0	0
		西淀川区	0	0	0	1	0	0	0	1
		淀川区	0	0	0	0	0	0	0	0
		東淀川区	0	0	0	0	0	0	0	0
		東成区	0	0	0	9 (7)	4	0	0	13 (7)
		生野区	0	0	0	0	0	2 (1)	1	3 (1)
		旭区	0	0	0	0	0	1	0	1
		城東区	0	0	0	1	0	1	0	2
		鶴見区	0	0	0	1	0	0	0	1
		阿倍野区	0	0	0	0	0	0	0	0
		住之江区	0	0	0	0	0	0	0	0
		住吉区	0	0	0	1	0	0	0	1
		東住吉区	0	0	0	0	0	0	0	0
		平野区	0	0	0	2	1 (-1)	2	0	5 (-1)
		西成区	0	0	0	1	0	0	0	1
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0
堺市	全体		8	0	0	92	7 (1)	3	2	112 (1)
	内訳	堺区	1	0	0	16	1	0	0	18
		中区	2	0	0	13	0	0	0	15
		東区	2	0	0	9	1 (1)	2	0	14 (1)
		西区	1	0	0	14	0	1	0	16
		南区	0	0	0	19	1	0	1	21
		北区	1	0	0	15	1	0	1	18
		美原区	1	0	0	6	3	0	0	10
豊能	豊中市		0	0	0	0	1 (1)	0	0	1 (1)
	池田市		0	0	0	0	1 (1)	0	0	1 (1)
	箕面市		0	0	0	2	0	1	0	3
	豊能郡	能勢町	0	0	0	0	0	0	0	0
		豊能町	0	0	0	0	0	0	0	0

ブロック	協議会	市区町村	幼稚園（増減）	認定こども園（増減）	保育所（増減）	小学校（増減）	中学校（増減）	高等学校（増減）	特別支援学校（増減）	合計（増減）
三　島	吹　田　市		0	0	0	1 (1)	0	0	0	1 (1)
	摂　津　市		0	0	0	0	0	1 (1)	0	1 (1)
	茨　木　市		0	0	0	0	0	1 (1)	1	2 (1)
	高　槻　市		0	0	0	9 (-1)	3	0	0	12 (-1)
	三　島　郡	島　本　町	0	0	0	1	1 (1)	0	0	2 (1)
北河内	守　口　市		0	0	0	13 (-1)	8	1	0	22 (-1)
	門　真　市		0	0	0	1	2	0	0	3
	寝屋川市		0	0	0	0	0	1	0	1
	枚　方　市		0	0	0	2	2	1	0	5
	大　東　市		0	0	0	1	0	2	0	3
	四條畷市		0	0	0	6 (-1)	3	0	0	9 (-1)
	交　野　市		0	0	0	5	0	0	0	5
中河内	東大阪市		0	0	0	27	2	1 (1)	1	31 (1)
	八　尾　市		0	0	0	0	0	0	0	0
	柏　原　市		0	0	0	0	0	0	0	0
南河内	松　原　市		1	0	0	1	2 (1)	0	0	4 (1)
	藤井寺市		0	0	0	0	0	0	0	0
	羽曳野市		0	0	0	0	0	0	0	0
	富田林市		0	0	0	16	8	0	0	24
	河内長野市		0	0	0	13	7	0	0	20
	大阪狭山市		3	0	1	7	3	0	0	14
	南河内東部	太　子　町	0	0	0	2	1	0	0	3
		河　南　町	0	0	0	2	1	0	0	3
		千早赤阪村	0	0	0	2	1	0	0	3
泉　北	和　泉　市		4	0	0	21	10	1	0	36
	高　石　市		0	0	0	7	3	1	0	11
	泉大津市		0	0	0	8	3	0	0	11
	忠　岡　町		1	0	0	2	1	0	0	4
泉　南	岸和田市		0	0	0	24	7	1	0	32
	貝　塚　市		0	0	0	0	0	1	0	1
	泉佐野市		0	0	0	11 (-1)	0	0	0	11 (-1)
	泉　南　市		0	0	0	9	0	1	2	12
	阪　南　市		4	0	3	8	2	0	0	17
	泉　南　郡	熊　取　町	0	0	0	5	1	0	0	6
		田　尻　町	0	0	0	1	0	0	0	1
		岬　　町	0	0	0	3	1 (1)	0	0	4 (1)
私立高等学校			0	0	0	0	0	23 (-1)	0	23 (-1)
私立中学校			0	0	0	0	5 (1)	0	0	5 (1)
私立小学校			0	0	0	1	0	0	0	0
私立幼稚園			0	2	0	0	0	0	0	2 (0)
合　計			21 (0)	2 (0)	4 (0)	331 (7)	92 (7)	48 (3)	9 (0)	507 (17)

2 青少年赤十字の活動推進（会議等の開催）

⑴ 本社主催

行事名	会場	実施期日	出席者
青少年赤十字全国指導者協議会総会	日赤本社 （東京都）	９月11日	オンライン開催・会長が公務により欠席のため、支部職員がオブザーバー参加
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会役員会・総会	福島県	11月	文書審議

⑵ 支部主催

行事名	会場	実施期日	出席者
大阪府青少年赤十字指導者協議会	大阪赤十字会館	５月	文書審議
		２月11日	文書審議

⑶ 高等学校青少年赤十字指導者協議会主催

行事名	開催形式	実施期日	出席者
大阪府高等学校青少年赤十字メンバー連絡協議会	オンライン	６月21日	メンバー　27人、指導者　４人
	オンライン	８月８日	メンバー　10人、指導者　１人
	オンライン	９月６日	メンバー　19人、指導者　４人
	オンライン	11月15日	メンバー　12人、指導者　４人
	オンライン	３月20日	メンバー　11人、指導者　１人

3 青少年赤十字指導者の育成（講習会等の開催）

⑴ 本社主催

行事名	会場	実施期日	参加者
指導主事対象青少年赤十字研究会	日赤本社 （東京都）	１月８日	オンライン開催 堺市教育委員会　事務局学校教育部学校指導課 企画推進グループ指導主事 中村　諒

4 青少年赤十字メンバーの育成

(1) 本社主催

行事名	実施場所・開催形式	実施期日	参加者
青少年赤十字高校生 オンラインスタディー・プログラム	大阪赤十字会館・ オンライン	３月20日	メンバー　３人、指導者　３人

コロナ禍でもできる青少年赤十字活動について、
国内の高校生メンバーとも議論を重ねています
（青少年赤十字高校生オンラインスタディー・プログラム）

5 国際交流

(1) 本社主催

行事名	実施場所・開催形式	実施日	参加者
本社主催青少年赤十字国際交流集会	大阪赤十字会館・ オンライン	11月15日	メンバー　４人、指導者　３人

新型コロナウイルスに負けないためにできることを
世界中のメンバーとオンラインで意見交換しました

6 募金活動等の状況

行事名	実施日	成果
大阪府青少年赤十字 愛のひとにぎり心もち運動	11月13日～12月31日	募金総額　1,027,197円 実施校園所　150校園所 ●赤十字活動資金　853,057円 ●年末たすけあい　174,140円

募金活動	実施校	成果
一円玉募金	大阪市立東陽中学校 田尻町立小学校	8,268円

7 新型コロナウイルス感染症の流行に伴う、その他活動

・資料「新型コロナウイルス３つの顔を知ろう！　～負のスパイラルを断ち切るために～」を、全加盟校に案内。大阪府教育庁保健体育課からは府内全小中高等学校に、また私学課より私立学校にメールにより情報共有された。

・新型コロナウイルス感染症の影響によって献血者が減少していることに気づいた高槻中学校・高等学校の生徒達が献血啓発の広報動画を作成し、大阪府赤十字血液センターのホームページで公開した。

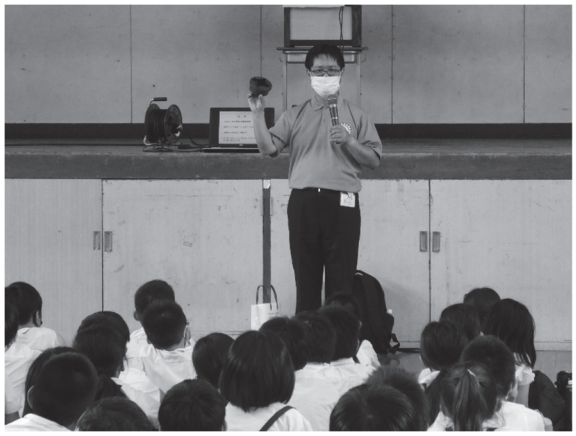
8 青少年赤十字体験学習プログラム／出前講座

学習項目	実施対象と回数		実施日	実施内容	
健康・安全プログラム（救急法を含む）	小学校	2回	通年	救命手当短時間	6回
	中学校	4回		心肺蘇生・ＡＥＤ	1回
	高　校	2回		着衣泳	1回
	教　員	2回		熱中症	2回
	計10回			計	864人
福祉体験学習プログラム（資材貸出）	小学校	16回	通年	車椅子体験	19回
	中学校	5回		ガイドヘルプ体験	3回
	高　校	0回		高齢者疑似体験	3回
	教　員	0回			
	計21回			計	2,145人

学習項目	実施対象と回数		実施日	実施内容
国際理解・平和学習プログラム	小学校	4回	通年	地雷・世界の子どもたちの現状・国際赤十字の援助・平和、キャリア教育、ＳＤＧｓについてなど
	中学校	2回		
	高　校	6回		
	教　員	3回		
	計15回			計　1,200人
防災教育プログラム	小学校	9回	通年	災害時の心構え、炊き出し体験、「まもるいのちひろめるぼうさい」など
	中学校	2回		
	高　校	7回		
	教　員	1回		
	計19回			計　2,538人

新型コロナウイルスの差別・偏見をなくすための授業をおこないました

学校の教員対象の研究会で青少年赤十字とＳＤＧｓについて講演しました



地雷の模型を使い、平和とはなにか、自分たちにできることは何かを考え、学びます

9　青少年赤十字健康安全プログラム等実施状況

目的　児童・生徒が、自分やまわりの人の健康と安全に関する関心を高め、具体的な知識と技術を学ぶことにより、健康を維持、増進し、疾病や事故を予防、回避する行動がとれるようにするとともに、万一の事故に際しては適切な行動がとれるようにすること。

種別　① けがの予防と応急手当 ／ 救命手当短時間

小学生低学年（初級コース45分～ 90分）【45分（１単位）×２】
小学生高学年（中級コース45分～135分）【45分（１単位）×３】
中学生　　（上級コース50分～200分）【50分（１単位）×４】

② 着衣泳

小学生低学年（初級コース45分～ 90分）【45分（１単位）×２】
小学生高学年（中級コース45分～ 90分）【45分（１単位）×２】
中学生　　（上級コース50分～100分）【50分（１単位）×２】

③ 献血セミナー　小学生低～高学年、中学生

対象　小学生、中学生、高校生（救急法短期講習）、教職員（救急法短期講習）

方法　ア）資材貸出

イ）赤十字水上安全法指導員を派遣（水の事故）
※高校生・指導者については救急法講習として実施

ウ）献血セミナー（健康な身体づくり）＊講義のみ

●対象：小学生

No	依頼先学校名等・場所	実施日	種別：中級コース	人数（人）
1	高槻市立柱本小学校	７月15日	児童・生徒のための救命手当短時間コース	66
2	大阪市立中野小学校	７月29日	着衣泳	134
			小計	200

●対象：中学生

No	依頼先学校名等・場所	実施日	種別：上級コース	人数（人）
1	大阪市立東陽中学校	11月７日	児童・生徒のための救命手当短時間コース	98
2	大阪市立相生中学校	11月13日	児童・生徒のための救命手当短時間コース	180
3	大阪市立本庄中学校	11月14日	児童・生徒のための救命手当短時間コース	141
4	大阪市立玉津中学校	11月19日	児童・生徒のための救命手当短時間コース	107
			小計	526

●対象：高校生

No	依頼先学校名等・場所	実施日	種別	人数（人）
1	大阪府立勝山・大阪わかば高等学校	７月21日	児童・生徒のための救命手当短時間コース	15
2	大阪府立登美丘高等学校	８月５日	心肺蘇生・ＡＥＤ	36
			小計	51

●対象：教職員

No	依頼先学校名等・場所	実施日	種別	人数（人）
1	追手門学院大手前中・高等学校	７月２日	熱中症コース	60
2	大阪狭山市立南第三小学校	８月12日	熱中症コース	27
			小計	87

実施回数	10回	合計	864人

10 青少年赤十字福祉体験学習プログラム等実施状況

目的　児童・生徒が、介護の仕方を体験学習することにより、自分の住む地域や学校生活を深く見つめなおし、高齢者や障がいを持つ人たちとの心のバリアを取り除き、できることから取り組む態度を身につけることによって、思いやりや助け合いの心を育み、人にやさしく共に生きる社会を目指す。

種別　① 車椅子の操作と介助方法
② ガイドヘルプ体験と介助方法
③ 高齢者疑似体験

対象　小学生（４年～６年生）、中学生、高校生

方法　資材貸出（車いす、アイマスクセット、高齢者疑似体験セット）

●対象：小学生

No	依頼先学校名等・場所	実施日	種別	人数（人）
1	岸和田市立八木小学校	９月７日～９月８日	車イス	78
2	堺市立美原西小学校	９月９日～９月12日	車イス・ガイドヘルプ・高齢者疑似体験	29
3	堺市立白鷺小学校	10月14日～10月16日	車イス	48
4	岸和田市立八木北小学校	11月９日～11月10日	車イス	86
5	阪南市立上荘小学校	11月12日～11月13日	車イス	51
6	河内長野市立小山田小学校	11月18日～11月19日	車イス	42
7	田尻町立小学校	11月26日～11月27日	車イス	89
8	河内長野市立長野小学校	12月９日～12月10日	車イス	146
9	守口市立庭窪小学校	12月11日～12月14日	車イス	55
10	高槻中学校	12月11日～12月16日	ガイドヘルプ・高齢者疑似体験	270
11	泉佐野市立第二小学校	12月15日～12月16日	車イス	114
12	阪南市立尾崎小学校	12月16日～12月17日	車イス	52
13	堺市立榎小学校	１月15日～１月18日	車イス	134
14	阪南市立舞小学校	２月８日～２月９日	車イス	35
15	阪南市立桃の木台小学校	２月９日～２月10日	車イス	66
16	岸和田市立大宮小学校	３月８日～３月９日	車イス	104
			小計	1,399

●対象：中学生

No	依頼先学校名等・場所	実施日	種別	人数（人）
1	四條畷市立田原中学校	10月22日～10月23日	車イス	48
2	東大阪市立枚岡中学校	10月28日～10月29日	車イス	205
3	守口市立大久保中学校	12月１日～12月８日	車イス	105
4	豊中市立第十七中学校	１月26日～１月27日	車イス	242
5	島本町立第一中学校	１月27日～２月24日	ガイドヘルプ・高齢者疑似体験	146
			小計	746

実施回数	21回	合計　2,145人

11 青少年赤十字国際理解・平和学習プログラム実施状況

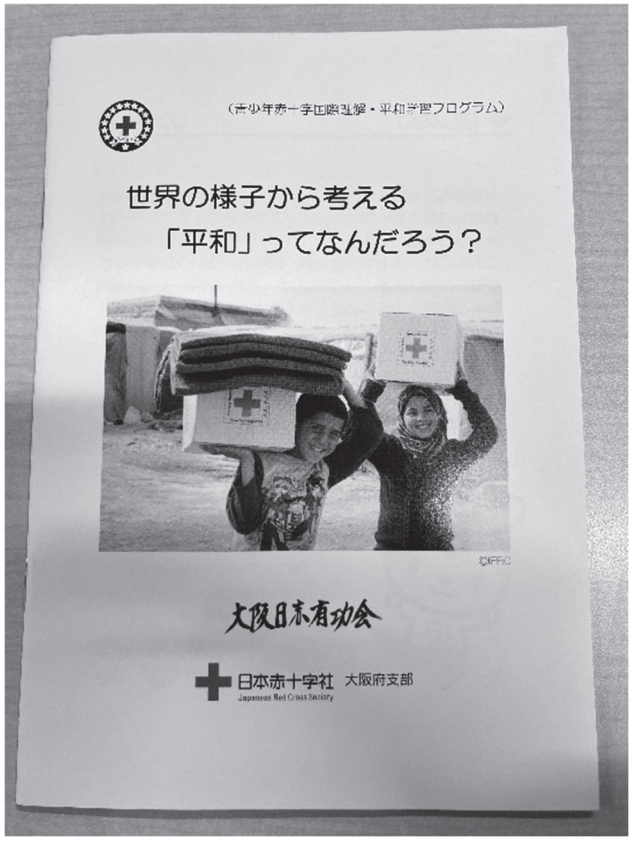
（新型コロナウイルス「３つの顔を知ろう」キャリア、ボランティアSDGsを含む）

●対象：小学生

No	依頼先学校名等・場所	実施日	種別	対象	人数（人）
1	守口市立庭窪小学校	７月30日	国際理解・平和学習	６年生	50
2	岸和田市立大宮小学校	８月27日	国際理解・平和学習	４～６年生	292
3	阪南市立尾崎小学校	９月15日	国際理解・平和学習	５年生	106
4	大阪市立真田山小学校	10月25日	国際理解・平和学習	４年生	150
				小計	598

●対象：中学生

No	依頼先学校名等・場所	実施日	種別	対象	人数（人）
1	大阪市立相生中学校	11月13日	新型コロナウイルス「3つの顔」を知ろう	２年生	180
2	大阪市立玉津中学校	11月19日	新型コロナウイルス「3つの顔」を知ろう	３年生	107
				小計	287



大阪日赤有功会から寄贈された国際理解・平和学習プログラム用
冊子を使用して出前講座をおこなっています

●対象：高校生

No	依頼先学校名等・場所	実施日	種別	対象	人数（人）
1	関西学院千里国際高等部	10月５日	新型コロナウイルス「３つの顔」について	10年生	100
2	関西学院千里国際高等部	10月12日	新型コロナウイルス「３つの顔」について	10年生	100
3	大阪府立花園高等学校	11月11日	キャリア教育について	２年生	20
4	高槻中学校・高等学校	11月12日	ボランティア講演	ボランティア委員	30
5	関西学院千里国際高等部	２月５日	国際支援・人道に関する講義	３年生	15
6	関西学院千里国際高等部	３月２日	国際支援・人道に関する講義	３年生	15
				小計	280

●対象：教職員他

No	依頼先学校名等・場所	実施日	種別	対象	人数（人）
1	阪南市小学校教育研究会特別活動部会	９月15日	ＳＤＧｓと青少年赤十字について	教諭	15
2	阪南市小学校教育研究会特別活動部会	11月４日	ＳＤＧｓについて	教諭	10
3	茨木ローターアクトクラブ	12月８日	赤十字の日頃の活動について	メンバー	10
				小計	35

実施回数	15回	合計　1,200人

12　青少年赤十字防災教育プログラム実施状況

⑴ 防災プログラム

⑵ 防災教育プログラム「まもるいのち　ひろめるぼうさい」

●対象：小学生

No	依頼先学校名等・場所	実施日	種別	対象	人数（人）
1	大阪市立東粉浜小学校	９月26日	災害に備えるための講演	５年生	70
2	大阪市立梅南津守小学校	10月17日	災害に備えるための講演、コロナ３つの顔	全校生徒	208
3	箕面市立東小学校	11月18日	災害に備えるための講演	４年生	101
4	泉南市立新家東小学校	11月26日	災害に備えるための講演	５年生	28
5	大阪市立瓜破東小学校	12月11日	コロナ３つの顔	低学年	118
6	大阪市立瓜破東小学校	12月16日	コロナ３つの顔	６年生	43
7	大阪市立中野小学校	１月16日	災害に備えるための講演	５年生	56
8	和泉市立青葉はつが野小学校	２月12日	災害に備えるための講演	５年生	202
9	大阪市立南港桜小学校	２月22日	災害に備えるための講演	４年生	122
				小計	948

●対象：中学生

No	依頼先学校名等・場所	実施日	種別	対象	人数（人）
1	田尻町立小学校	11月４日	防災に関する講演	３年生	80
2	岬町立岬中学校	11月10日	防災に関する講演	全校生徒	290
				小計	370

●対象：高校生

No	依頼先学校名等・場所	実施日	種別	対象	人数（人）
1	大阪府立香里丘高等学校	８月４日	身近なものを使った応急手当（講義）	クラブ代表	60
2	大阪府立摂津高等学校	10月14日	身近なものを使った応急手当（講義）	クラブ代表	50
3	英真学園高等学校	11月４日	災害に備えるための講演	３年生	256
4	大阪府立北摂つばさ高等学校	11月12日	災害に備えるための講演	１・３年生	544
5	大阪府立東大阪支援学校	12月18日	災害に備えるための講演	生徒	2
6	大阪府立東大阪支援学校	１月15日	災害に備えるための講演	生徒	9
7	大阪府立北摂つばさ高等学校	２月４日	災害に備えるための講演	２年生	269
				小計	1,190

●対象：教職員

No	依頼先学校名等・場所	実施日	種別	対象	人数（人）
1	大阪府立中津支援学校	２月24日	災害に備えるための講演	教諭	30
				小計	30

実施回数	19回	合計 2,538人

5　救急法などの講習

1　救急法

病気やけがや災害から自分自身を守り、けが人や急病人を正しく救助し、医師又は救急隊に引き継ぐまでの一次救命処置と応急手当を学ぶ講習を実施しました。

種別	開催回数（回）　（主催者別内訳）※1								受講者数（人）
	赤施	赤団	地	学	企	公	他	計	
指導員養成	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基礎	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救急員養成	0	0	0	0	0	0	0	0	0
短期講習	8	2	0	36	7	0	0	53	1,648
うち、オンライン講習※2	7	0	0	3	2	0	0	12	327
計	8	2	0	36	7	0	0	53	1,648

※1　赤施…赤十字関係施設、赤団…赤十字関係団体、地…地域、学…学校、企…企業、公…公的団体、他…その他
※2　新型コロナウイルス感染防止対策として、オンライン講習を新たに実施しました。

2　水上安全法

水と親しみ、水の事故からいのちを守るための知識や技術を学ぶ講習を実施しました。

種別	開催回数（回）　（主催者別内訳）※1								受講者数（人）
	赤施	赤団	地	学	企	公	他	計	
指導員Ⅰ養成	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指導員Ⅱ養成	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救助員Ⅰ養成	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救助員Ⅱ養成	0	0	0	0	0	0	0	0	0
短期講習	0	0	0	5	1	0	0	6	232
計	0	0	0	5	1	0	0	6	232

3 健康生活支援講習

⑴ 健康生活支援講習

健やかな高齢期を過ごすための健康維持・増進と高齢者の自立を目指した介護の方法を学ぶ講習を実施しました。

種別		開催回数（回）（主催者別内訳）※1								受講者数（人）
		赤施	赤団	地	学	企	公	他	計	
指導員養成		0	0	0	0	0	0	0	0	0
支援員養成		0	0	0	0	0	0	0	0	0
短期講習	災害時高齢者生活支援	0	1	0	0	0	2	0	3	75
	上記以外	0	3	1	0	1	0	0	5	110
計		0	4	1	0	1	2	0	8	185

⑵ 高齢者家庭介護相談

コロナ禍で高齢者介護サービスが受けられずお困りの方に対し、「高齢者家庭介護相談」として電話やビデオ電話で個別指導を行ないました。

実施期間	対応件数	対応者
５月26日～３月31日	２件	健康生活支援講習指導者（支部職員）

4 幼児安全法

子どもに起こりやすい事故の予防と応急手当、乳幼児の一次救命処置、病気の看病の方法などの知識や技術を学ぶ講習を実施しました。

種別		開催回数（回）（主催者別内訳）※1								受講者数（人）
		赤施	赤団	地	学	企	公	他	計	
指導員養成		0	0	0	0	0	0	0	0	0
支援員養成		0	0	0	0	0	0	0	0	0
短期講習		11	2	0	6	1	36	1	57	837
	うち、オンライン講習※2	3	0	0	0	1	0	0	4	85
計		11	2	0	6	1	36	1	57	837

5 「赤十字防災啓発プログラム」講習

「地震」や「大雨」への備えについての講義、「災害エスノグラフィー※3」など「自助」・「共助」の力を高める講習を実施しました。

種別	開催回数（回）（主催者別内訳）※1								受講者数（人）
	赤施	赤団	地	学	企	公	他	計	
講義（地震・津波）	2	0	0	2	0	0	0	4	828
うち、オンライン講習※2	2	0	0	2	0	0	0	4	828
講義（大雨・土砂災害）	2	1	0	0	0	2	2	7	120
計	4	1	0	2	0	2	2	11	948

※３　災害エスノグラフィー：読み物を通じて過去の災害を追体験することにより、防災・減災に役立つ教訓や知識を学ぶことを目的としたグループワーク。

6　医療事業

大阪・高槻両赤十字病院は、人道の赤十字精神に基づき、安全で良質の医療を提供しています。また、地域医療を支えるために、地域の医療機関と連携し、病院と診療所などが一体となって地域に根差した医療を推進していきます。

当支部では、赤十字の使命である災害時に医療救護班を迅速に被災地へ派遣するための体制整備や、災害救護及び救急医療用医療機器などの整備に助成しました。また、新型コロナウイルス患者受入体制整備に各2,000万円を支援しました。

大阪赤十字病院

- 診療科目数　：36科
- 指定医療機関認定数：38（災害拠点病院など）
- 特色ある診療施設　：救命救急センター、心臓血管センター、健診センター、外来通院治療センター、脳卒中センター、アレルギーセンター、治験・臨床研究管理センター、がん診療センター、患者総合支援センター
- 許可病床数　：964床（本院一般862床、精神42床、大手前整肢学園60床）

高槻赤十字病院

- 診療科目数　：25科
- 指定医療機関認定数：26（地域支援病院など）
- 特色ある診療施設　：緩和ケア専門病棟（別棟）・訪問看護ステーション
- 許可病床数　：335床

1　業務実績

大阪赤十字病院　※（　）内は前年度増減率　　単位：人

区分	患者延数	対前年度比較	一日平均患者数	対前年度比較	紹介率	逆紹介率
入院	225,148	−48,426（17.7%減）	616.8	−130.7（17.5%減）	79.1%	111.6%
外来	381,030	−62,607（14.1%減）	1,574.5	−266.3（14.5%減）		

高槻赤十字病院　※（　）内は前年度増減率　　単位：人

区分	患者延数	対前年度比較	一日平均患者数	対前年度比較	紹介率	逆紹介率
入院	90,917	−12,514（12.1%減）	249.1	−33.5（11.9%減）	69.3%	50.5%
外来	128,557	−12,563（ 8.9%減）	529.0	−54.1（ 9.3%減）		

2　支部による支援（救護用医療機器及び救急医療体制の整備）

(1) 大阪赤十字病院	ＣＴ装置	12,276,000円
	汎用超音波診断装置	894,000円
	新型コロナウイルス患者受入体制整備支援	20,000,000円
(2) 高槻赤十字病院	超音波診断装置及び外科用Ｘ線システム	13,500,000円
	新型コロナウイルス患者受入体制整備支援	20,000,000円

7　看護師などの教育

当支部管内には、災害救護要員の確保とともに医療施設要員の充足を図るため、大阪赤十字看護専門学校を設置しています。

赤十字の理念を基調とし、豊かな人間性を育み、幅広い能力を備えた看護師としての基本的な教育に加えて、「赤十字概論」「災害看護」「赤十字救急法」など特色のある教育を実施しています。

また、国内外で活躍できる優秀な看護師の質的な充実、高度化を目的として、日本赤十字看護大学、日本赤十字社幹部看護師研修センターへの養成委託の推進を図っています。

1　大阪赤十字看護専門学校

(1) 学生の内訳

単位：人

区分	1年生（113回生）	2年生（112回生）	3年生（111回生）	計
生徒数	48	52	42	142

(2) 支部による経費の負担　救護看護師養成経費　12,007,000円

(3) 看護師国家試験合格者　49人

2　赤十字看護大学の学生への奨学金貸与

(1) 人　　数　21人　※年額60万円を貸与

(2) 貸与金額　12,600,000円（支部負担額は6,300,000円）

(3) 貸与生の内訳

単位：人

1年生	2年生	3年生	4学年	計
2	5	7	7	21

大阪赤十字看護専門学校　戴帽式

8　社会福祉

1　大手前整肢学園

大阪赤十字病院附属大手前整肢学園は、医療型障がい児入所施設として大阪赤十字病院の診療部門各科並びに検査部門と密接に連携し、高度な医療サービスを提供しています。

当支部では、同学園の入所児童の生活向上に資するよう機器整備に助成しました。

事業内容	利用者延数（人）	1日平均利用者数（人）
医療型障がい児入所施設 （肢体不自由児・重症心身障がい児）	10,277	28.2
療養介護 （肢体不自由者・重症心身障がい者）	4,545	12.5
医療型児童発達支援	1,662	7.1

事業内容	利用者件数（件）
保育所等訪問支援	22
相談支援事業（障害児相談支援・計画相談支援）	196

2　支部による支援（社会福祉施設の整備）

ベビーストレッチャー（1台）　266,200円

9　血液事業

血液事業は、「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」（平成15年７月30日施行）に基づき、各市町村献血推進協議会及び各種献血協力団体の理解と協力を得ながら大阪府赤十字血液センターをはじめ府内11か所の献血施設と移動採血車で献血の受入を行い、医療機関へ血液製剤を供給しています。

当支部では、府内の医療機関で必要な血液製剤をより安全に安定的に供給できるよう、血液運搬車の整備に助成しました。

1　献血状況累計

単位:人

施設/採血方法（構成比率）		200mL（2.6%）	400mL（62.5%）	成分（34.9%）	計（100%）	目標数	達成率（%）
血液センター（森之宮・南大阪）		307	9,221	15,228	24,756	20,256	122.2%
採血車		5,028	108,451	0	113,479	133,600	91.8%
オープン		430	8,670	0	9,100		
献血ルーム	門真献血ルーム	205	18,380	0	18,585	18,467	100.6%
	阪急グランドビル25献血ルーム	1,188	22,225	25,531	48,944	50,052	97.8%
	あべの献血ルームKiZooNa	1,061	22,114	25,906	49,081	43,083	113.9%
	西梅田献血ルーム	234	10,345	15,461	26,040	27,403	95.0%
	まいどなんば献血ルーム	380	17,838	13,011	31,229	31,274	99.9%
	御堂筋献血ルームCROSS CAFÉ	822	11,313	13,199	25,334	26,309	96.3%
	阪急茨木市駅献血ルーム	246	6,142	10,108	16,496	14,664	112.5%
	京阪枚方市駅献血ルーム	298	6,591	10,619	17,508	15,662	111.8%
	堺東献血ルーム	181	6,847	9,267	16,295	15,118	107.8%
計（人）		10,380	248,137	138,330	396,847	395,888	100.2%

（前年度献血者数）　390,758人　　（対前年比）　101.6%

2　血液製剤の供給本数

単位：本

区分	血小板	血漿	赤血球	全血	計
供給本数	64,084	88,687	274,834	0	427,605

3　支部による支援（採血受入機関の整備等）

(1) 採血受入機関整備費

車両の整備　血液運搬車　１台　2,500,000円

(2) 赤十字血液センターへの支援

派遣期間	活動場所	派遣人数
１月18日～２月22日	献血ルーム・献血バス	延べ　24人

10 活動資金の募集

1 財政基盤の強化

日本赤十字社では、５月１日から全国一斉に「赤十字運動月間」を展開し、赤十字の理念と活動内容をより多くの皆さまに知っていただくとともに、活動資金のご協力をお願いしています。

令和２年度は新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、活動資金の募集時期に終期を設けず、年間を通して募集活動を実施いたしました。経済的に厳しい状況の中、活動資金募集目標額８億６千万円に対して、府民の皆さまのご支援とご協力、故人からの遺言によるご寄付（遺贈）、また地域赤十字奉仕団や地区・分区関係者の多大なご尽力をもって、11億6,601万余円という実績を収めることができました。

2 活動資金（社資）募集実績表 （令和２年度）

（単位：円）

地区分区名	目標額	実績額	内訳			
			一般社資		ダイレクトメール（DM）	
			地区（地域）	支部	法人	個人
北地区	30,054,000	15,975,609	5,629,781	6,276,828	2,271,000	1,798,000
都島地区	10,283,000	7,089,430	4,399,430	1,482,000	288,000	920,000
福島地区	9,610,000	8,061,720	5,150,210	1,773,000	419,000	719,510
此花地区	5,522,000	4,394,304	3,401,700	490,104	96,000	406,500
中央地区	37,008,000	11,934,745	3,394,700	2,819,393	4,650,026	1,070,626
西地区	15,783,000	8,226,101	2,050,000	2,364,851	3,053,250	758,000
港地区	7,316,000	7,456,775	4,696,775	1,180,000	1,082,000	498,000
大正地区	5,184,000	6,474,200	3,396,200	1,639,000	640,000	799,000
天王寺地区	10,076,000	6,636,752	1,611,455	2,505,400	741,397	1,778,500
浪速地区	8,480,000	5,787,700	3,090,700	1,103,000	925,000	669,000
西淀川地区	8,096,000	8,152,458	5,159,458	1,950,000	345,000	698,000
淀川地区	20,410,000	14,041,879	8,358,602	2,908,277	1,307,000	1,468,000
東淀川地区	15,488,000	15,132,387	11,503,287	2,090,000	369,000	1,170,100
東成地区	7,652,000	12,519,850	8,418,350	2,896,500	524,000	681,000
生野地区	10,439,000	14,142,752	9,829,954	1,716,000	883,000	1,713,798
旭地区	7,638,000	8,138,259	6,186,634	870,000	349,000	732,625
城東地区	14,204,000	16,695,797	11,067,112	3,960,714	366,000	1,301,971
鶴見地区	9,050,000	9,673,078	7,967,578	1,099,000	328,000	278,500
阿倍野地区	11,736,000	10,073,767	6,880,406	1,406,000	718,000	1,069,361
住之江地区	10,182,000	5,560,763	2,941,418	1,175,345	505,000	939,000
住吉地区	12,726,000	9,704,571	6,720,530	1,505,954	286,200	1,191,887
東住吉地区	10,634,000	8,263,241	5,284,030	1,277,000	415,500	1,286,711
平野地区	14,957,000	12,957,362	7,825,878	3,420,984	482,000	1,228,500
西成地区	7,472,000	5,872,151	3,489,500	709,651	573,000	1,100,000
小計（大阪市）	300,000,000	232,965,651	138,453,688	48,619,001	21,616,373	24,276,589

（単位：円）

地区分区名	目標額	実績額	内訳			
			一般社資		ダイレクトメール（DM）	
			地区（地域）	支部	法人	個人
堺市堺区地区	14,414,000	9,493,964	5,149,682	2,670,685	480,000	1,193,597
堺市中区地区	7,186,000	7,229,116	4,716,019	1,029,597	100,000	1,383,500
堺市東区地区	7,695,000	6,226,923	4,369,351	922,072	177,000	758,500
堺市西区地区	11,561,000	11,194,694	5,665,391	3,653,703	947,600	928,000
堺市南区地区	10,057,000	7,017,321	4,041,698	1,451,623	122,000	1,402,000
堺市北区地区	12,111,000	7,184,832	3,986,242	1,024,320	685,000	1,489,270
堺市美原区地区	3,676,000	4,167,665	2,952,849	916,816	248,000	50,000
小計（堺市）	66,700,000	52,514,515	30,881,232	11,668,816	2,759,600	7,204,867
岸和田市地区	9,698,000	8,538,583	5,715,729	1,163,641	481,202	1,178,011
豊中市地区	25,330,000	17,757,495	10,723,448	3,308,207	752,000	2,973,840
池田市地区	6,681,000	4,424,365	2,134,165	1,063,000	243,000	984,200
吹田市地区	24,096,000	10,765,879	2,667,509	3,011,086	811,953	4,275,331
泉大津市地区	4,071,000	5,820,725	2,895,725	108,000	2,580,000	237,000
高槻市地区	20,403,000	21,074,769	13,182,038	3,235,740	313,000	4,343,991
貝塚市地区	4,367,000	4,815,150	3,651,150	724,000	75,000	365,000
守口市地区	8,151,000	15,539,150	13,711,150	653,000	439,000	736,000
枚方市地区	22,692,000	15,835,177	10,421,819	1,460,621	602,128	3,350,609
茨木市地区	16,841,000	15,648,434	10,409,318	2,147,914	378,237	2,712,965
八尾市地区	14,785,000	16,787,089	6,847,619	1,267,000	4,342,000	4,330,470
泉佐野市地区	5,248,000	3,944,621	2,607,621	672,000	368,000	297,000
富田林市地区	6,116,000	4,568,013	2,956,571	728,442	333,000	550,000
寝屋川市地区	12,618,000	17,797,935	14,614,543	880,392	413,000	1,890,000
河内長野市地区	5,890,000	4,250,533	2,633,033	538,500	200,000	879,000
松原市地区	6,085,000	5,385,300	3,627,200	544,100	221,000	993,000
大東市地区	6,679,000	9,100,601	6,387,601	707,000	844,000	1,162,000
和泉市地区	8,967,000	8,448,927	5,885,827	1,170,100	665,000	728,000
箕面市地区	8,763,000	10,223,844	7,580,644	992,200	150,000	1,501,000
柏原市地区	3,937,000	4,577,213	3,590,511	390,602	345,000	251,000
羽曳野市地区	6,003,000	5,503,748	4,454,237	389,332	56,000	604,179
門真市地区	6,798,000	5,049,703	3,465,100	933,500	255,000	396,103
摂津市地区	5,076,000	5,008,506	3,716,054	488,452	499,000	305,000
高石市地区	3,256,000	2,982,019	2,285,119	285,400	82,000	329,500
藤井寺市地区	3,568,000	2,982,005	1,802,005	728,000	15,000	437,000
東大阪市地区	28,102,000	30,874,685	19,297,233	3,402,976	3,820,255	4,354,221
泉南市地区	2,827,000	2,833,943	1,951,943	429,000	30,000	423,000
四條畷市地区	2,906,000	4,141,753	3,774,753	70,000	102,000	195,000
交野市地区	4,179,000	6,149,283	5,594,783	262,000	101,000	191,500
大阪狭山市地区	3,386,000	2,953,588	2,064,088	81,000	175,000	633,500
阪南市地区	2,696,000	2,999,315	2,302,815	173,000	80,000	443,500
三島地区島本町分区	1,752,000	1,676,994	1,028,994	517,000	20,000	111,000
豊能地区豊能町分区	1,235,000	838,092	328,453	66,000	0	443,639
豊能地区能勢町分区	537,000	555,289	517,200	14,089	7,000	17,000
泉北地区忠岡町分区	846,000	688,750	639,750	27,000	0	22,000
泉南地区熊取町分区	2,224,000	3,236,777	2,215,777	373,000	230,000	418,000
泉南地区田尻町分区	425,000	401,180	382,180	4,000	0	15,000
泉南地区 岬 町分区	898,000	887,620	710,620	85,000	15,000	77,000
南河内地区太子町分区	693,000	943,250	798,250	85,000	0	60,000
南河内地区河南町分区	856,000	1,111,920	1,071,920	0	10,000	30,000
南河内地区千早赤阪村分区	319,000	777,757	727,757	10,000	0	40,000
小計（衛星都市郡部）	300,000,000	287,899,980	191,372,252	33,189,294	20,053,775	43,284,659
地区分区	666,700,000	573,380,146	360,707,172	93,477,111	44,429,748	74,766,115
支部	193,300,000	592,639,619	0	396,177,476	59,706,676	136,755,467
総　計	860,000,000	1,166,019,765	360,707,172	489,654,587	104,136,424	211,521,582

3 会員数

個人	法人	計
9,759人	2,859社	12,618（人・社）

4 日赤地区分区事務担当者等会議・研修会

実施日	名称	会場	参加人数（人）
1月27日	日赤地区分区事務担当者研修会	オンライン	31
1月27日	日赤大阪衛星都市郡部地区分区事務連絡会	文書審議	40

11 赤十字の広報

赤十字の活動は、皆様からいただく貴重な活動資金をもとに行われていることから、積極的かつ効果的な広報活動に努めています。

当支部では、５月・６月の「赤十字運動月間」を中心に、各地区・分区を通じて機関紙の配布や回覧、ホームページやＳＮＳなどの各種広報媒体を有効に活用し、赤十字の基本理念や活動内容を紹介することで、より一層赤十字への理解と協力を求めています。

1 広報物の作成

資材名	使用区分	作成数（部）	活用方法
日赤大阪（通常版）	広報	7,500	有功会員や管内施設へ配布 各種イベント時に配布
	活動資金募集	750	法人・個人・有功会員へ配布 法人勧奨用の資材として配布
日赤大阪（地区・分区用）	活動資金募集	565,730	地区・分区から地域へ配布、回覧
日赤大阪（新聞折込版）［振込用紙付］	広報	940,500	大阪市、堺市、門真市の讀賣・朝日・毎日・産経・日経新聞に折り込み
	活動資金募集	13,500	講習や各種イベント時に配布 一部地区・分区や管内施設に配布
ポケットティッシュ	広報	6,000	支部や地区分区のイベントなどで配布
	活動資金募集	300,000	地区・分区から地域へ配布
事業報告書	広報	1,050	評議員会用資料、支部ＨＰに公開
事業計画	広報	1,950	評議員会用資料、支部ＨＰに公開
私たちの想い	広報	14,500	前年度支援者に配布 大阪府赤十字大会などで配付
赤十字運動月間の依頼用チラシ	活動資金募集	208,500	地区・分区から地域へ回覧
赤十字運動月間のお礼用チラシ	活動資金募集	48,500	地区・分区から地域へ回覧
赤十字カレンダー	記念品	4,700	大阪府赤十字大会などで配付

2 マスメディア等による広報

(1) テレビ放送

会社名	ＣＭの種類	放送回数（回）		放送依頼期間	
		無償	有償	無償	有償
株式会社毎日放送	日赤 「あなたの手となり、 ぬくもりとなり」月間篇 （15秒）	166	2	５月１日～ ３月31日	５月１日～ ６月30日
朝日放送テレビ株式会社		388	2		
関西テレビ放送株式会社		0	2		
讀賣テレビ放送株式会社		104	2		
テレビ大阪株式会社		368	8		
株式会社ジュピターテレコム		20～30	8		
阪急電鉄株式会社	同（30秒）	600			

※　放送回数は５月１日～６月30日の実績。
※　阪急電鉄株式会社には、阪急梅田駅構内ＢＩＧＭＡＮでの放送実績。

(2) 駅貼りポスター

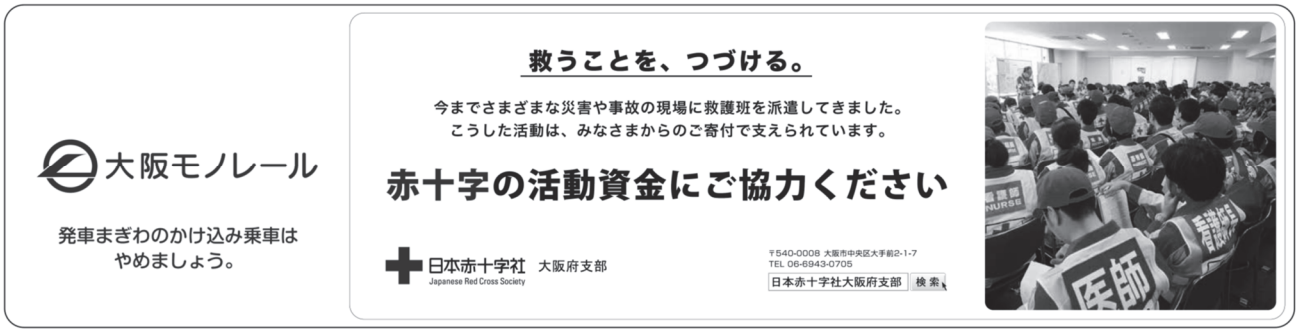
会社名	ポスターの種類	掲出数（枚）	掲出依頼期間
西日本旅客鉄道株式会社 大阪支社管内	赤十字運動 月間ポスター（Ｂ２）	120	５月１日～６月30日の内の ７～31日間（無償）
近畿日本鉄道株式会社		10	
阪急電鉄株式会社		55	
阪神電気鉄道株式会社 阪神電気鉄道内 神戸高速鉄道内含む		50	
京阪電気鉄道株式会社		45	
大阪市高速電気軌道株式会社		140	５月13日～26日（有償）

※　近畿日本鉄道株式会社での掲出は、デジタルサイネージを活用したもの。

⑶ 電車内ドア横バナータイアップステッカーの掲出

会社名	広報資材の種類	掲出数（枚）	掲出依頼期間
大阪モノレール株式会社	タイアップステッカー	84	４月１日～３月31日（有償）

※　４両編成×21編成の全84車両に１枚掲出。



電車内ドア横バナータイアップステッカー

⑷ 大阪府下警察署及び交番、駐在所へのポスター掲出

会社名	広報資材の種類	掲出数（枚）	掲出依頼期間
警察署（65署） 交　番（602か所） 駐在所（46か所）	年間ポスター（Ｂ２）	713	４月１日～６月30日（無償）

3　イベントによる広報（赤十字ブースの出展）

⑴ 地域のイベント・防災訓練等

地域	行事名	実施日	内容
堺市	近畿地方整備局・堺市総合防災訓練	11月５日	救援物資の展示・説明他
高石市	高石市地震・津波総合避難訓練	11月５日	救援物資の展示・説明他
計			２件

4　その他

⑴ 赤十字運動月間ポスターを各地区分区及び町内会などで掲示
⑵ 各地区町村発行の広報紙に赤十字活動の記事の掲載
⑶ 支部ホームページ及びフェイスブックの活用（最新情報の発信及び報告）
⑷ 市区町村の庁舎及び支部社屋に赤十字運動用の幟を立てるとともに、支部社屋前掲示板でのＰＲ
⑸ ＤＶＤ（私たちの想いや赤十字この一年など）の活用

12 赤十字思想及び国際人道法の普及

国際人道法は、「武力紛争のもたらす不必要な犠牲や損害を防止すること」を目的としています。

赤十字思想及び国際人道法の普及は、国際赤十字・赤新月運動の重要な使命であり、まず赤十字職員が赤十字や国際人道法を知ることからはじめ、多くの方に理解・共感していただくことを目指しています。

1 国際人道法の普及

⑴ 第４ブロック合同国際人道法普及研修の開催

主　催：日本赤十字社第４ブロック支部

対　象：第４ブロック支部施設職員、大阪府・府内各市国民保護担当者・青年／学生赤十字奉仕団

実施日	場所	内容
新型コロナウイルス感染症の影響により中止	大阪赤十字会館	国際人道法概論、赤十字標章、有事関連法と日本赤十字社、グループワークなど

⑵ 国際人道法普及セミナー（ＷＥＢ研修）への協力及び参加

主　催：日本赤十字社（本社）

内　容：講師として職員が協力、受講者として職員が参加（ＷＥＢ研修の受講）

実施日	場所	内容
２月15日～17日	ＷＥＢ開催	⑴ 日本赤十字社における国際人道法の普及・啓発に関する方針についての理解 ⑵ 国際人道法に関する最新の動向の把握 ⑶ 国際人道法の普及スキルの習得、向上 ⑷ 各支部施設における普及計画の策定（普及の実施）

⑶ その他

ア　新規採用職員研修における国際人道法に関する講義（新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

イ　大阪赤十字看護専門学校における国際人道法に関する講義

13 評議員会

評議員会は、日本赤十字社定款第71条に基づき、支部の重要な業務について審議し、支部長の諮問に答えるほか、本社代議員並びに支部長・副支部長及び監査委員の選出にあたります。

令和２年度は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、文書にて審議いたしました。

1 開催状況

期日	場所	議案
令和２年 ７月31日	文書審議	⑴ 令和元年度大阪府支部歳入歳出決算について ⑵ 令和元年度大阪赤十字病院歳入歳出決算について ⑶ 令和元年度大手前整肢学園歳入歳出決算について ⑷ 令和元年度高槻赤十字病院歳入歳出決算について ⑸ 令和元年度大阪府赤十字血液センター事業報告について ⑹ 代議員の選出について
令和３年 ３月１日	文書審議	⑴ 令和３年度大阪府支部事業計画案並びに歳入歳出予算案について ⑵ 令和３年度大阪赤十字病院事業計画案並びに歳入歳出予算案について ⑶ 令和３年度大手前整肢学園事業計画案並びに歳入歳出予算案について ⑷ 令和３年度高槻赤十字病院事業計画案並びに歳入歳出予算案について ⑸ 令和３年度大阪府赤十字血液センター事業計画案について ⑹ 令和２年度大阪府支部歳入歳出補正予算案について ⑺ 令和２年度大阪赤十字病院歳入歳出補正予算案について ⑻ 令和２年度高槻赤十字病院歳入歳出補正予算案について

14 赤十字大会

日赤大阪府支部に多額の活動資金を寄せられた篤志家ならびに業務に功労のあった奉仕者に対し、有功章、社長感謝状が贈られました。

なお、本年は新型コロナウイルス感染拡大に鑑み、令和２年11月25日に予定していた赤十字大会の開催は中止となりました。

1 表彰者の内訳

表彰名	受彰者数
金色有功章（社資功労）	88人、23法人・団体
〃　（業務功労）	81人
銀色有功章（社資功労）	117人、34法人・団体
〃　（業務功労）	84人
日本赤十字社社長感謝状（社資功労）	68人、52法人・団体
〃　（業務功労）	35人
支部長表彰状・感謝状（社資功労）	268人、85法人・団体
〃　（業務功労）［金枠］	398人
〃　（業務功労）［銀枠］	345人
斡旋功労感謝状	7人
活動資金募集目標達成表彰状	24地区・分区
協力団体感謝状	50団体

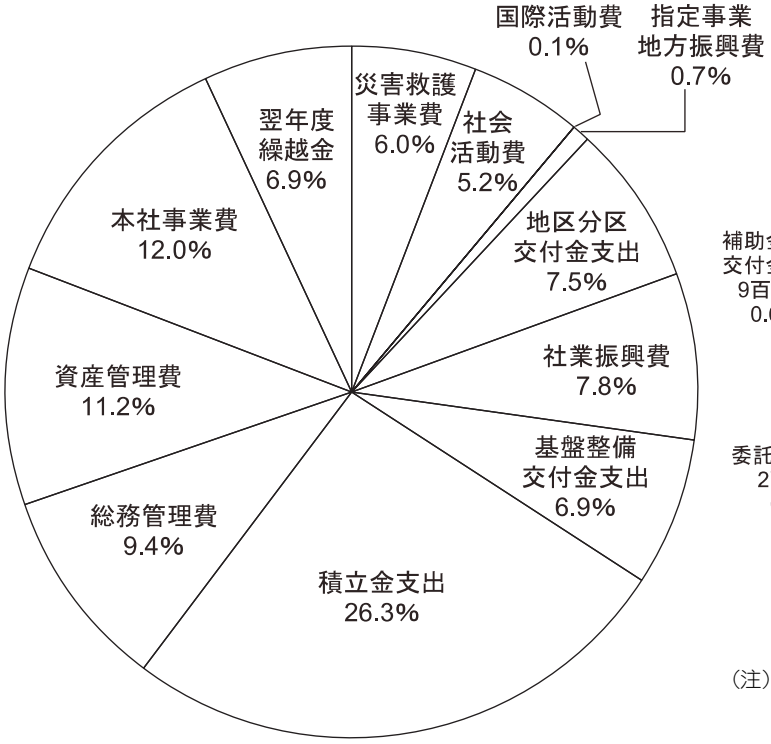
15 会計

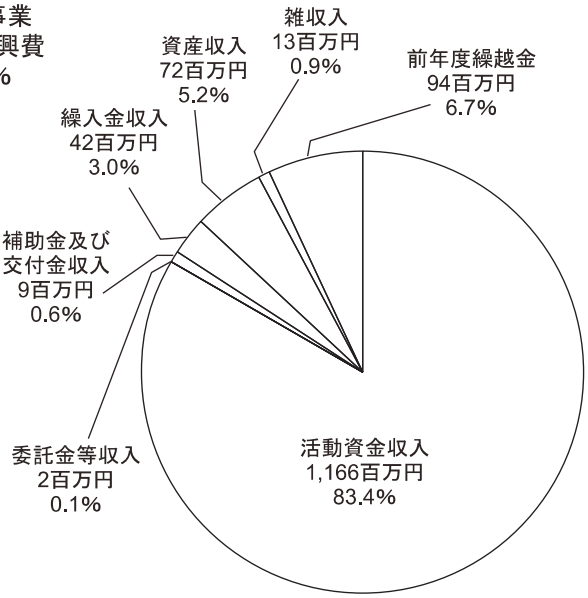
1 活動資金の収入支出

（百万円未満原則四捨五入、端数調整有り）

支出　１３億９，８００万円

収入　１３億９，８００万円





（注）グラフ内の割合（%）については、小数第二位を四捨五入して表記しているため、合計が100%にならない場合があります。

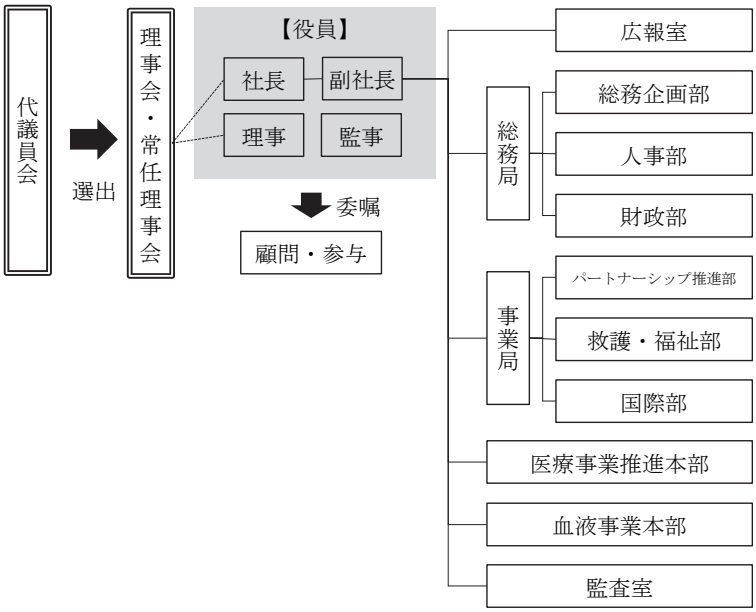
	百万円	
災害救護事業費	83	救護訓練の実施、救護員の研修、災害救護装備の整備など
社会活動費	72	救急法などの講習会、赤十字ボランティアや青少年赤十字など
国際活動費	1	途上国の災害対策や保健医療の強化など
指定事業地方振興費	10	災害用医薬品や救護用通信機器の整備など
地区分区交付金支出	104	地域の赤十字活動
社業振興費	109	赤十字大会、活動資金募集や広報活動、国際人道法の普及
基盤整備交付金支出	97	医療事業・社会福祉・血液事業を行っている関連施設の施設整備
積立金支出	368	施設整備積立金、事業準備積立金
総務管理費	132	職員の人件費や研修費、社会保険料や固定資産税など
資産管理費	157	支部社屋の維持管理
本社事業費	168	本社の活動費
翌年度繰越金	97	
支出計	1, 398	※当初の見込を上回る活動資金を頂戴し、大阪赤十字会館の機能を維持するための修繕等、将来への備えとして積立を行いました。令和２年度の「積立金支出」には、当該積立額を含んでいます。 ※災害救護時に拠点となる大阪赤十字会館の機能を維持するため、老朽化した外壁や階段等の修繕を実施しました。令和２年度の「資産管理費」には、当該費用を含んでいます。

16 支部の機構と役職員

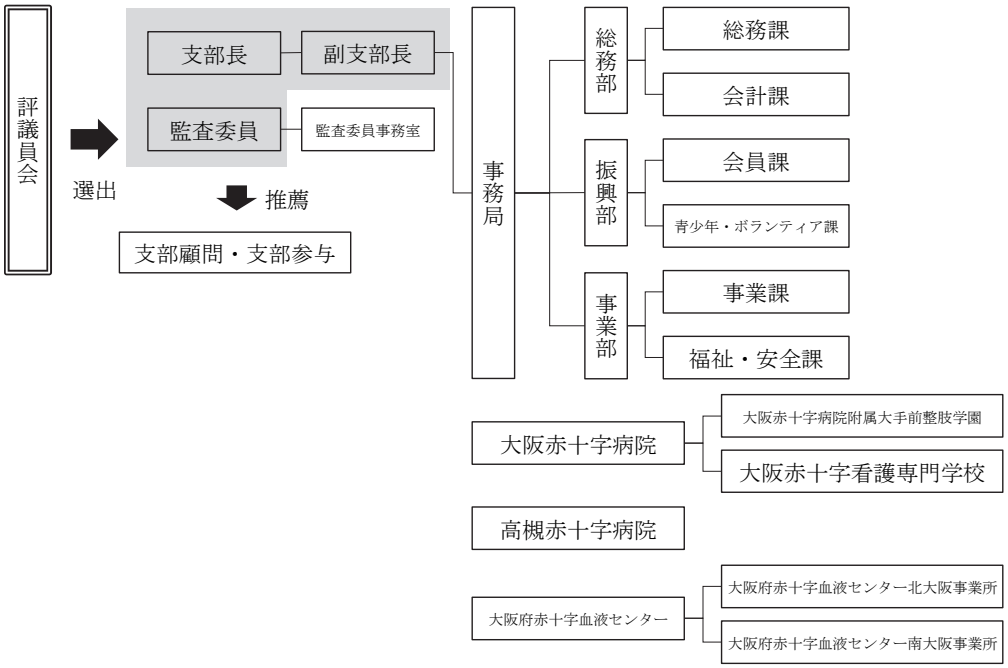
1 機構

日本赤十字社の本社は東京に、支部は各都道府県庁の所在地におかれています。各支部の管内には地区と分区があり、地区は都又は市の区と市、分区は町村にあります。また、政令指定都市には区地区を統括する地区本部があります。各都道府県にある赤十字病院、血液センターなどの施設は、一部本社直轄のものを除いてすべて支部に所属しています。

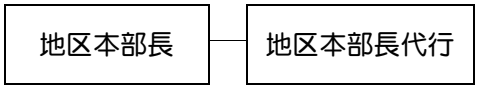
(1) 本社



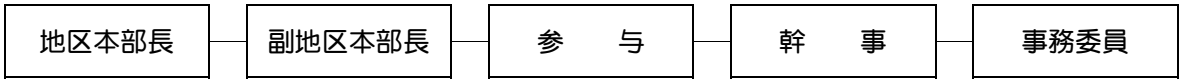
(2) 支部及び管内施設



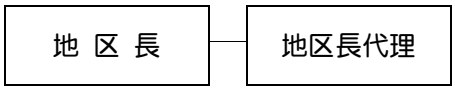
⑶ 大阪市地区本部



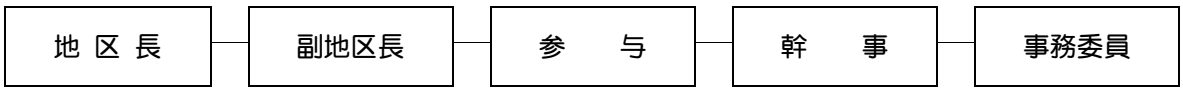
⑷ 堺市地区本部



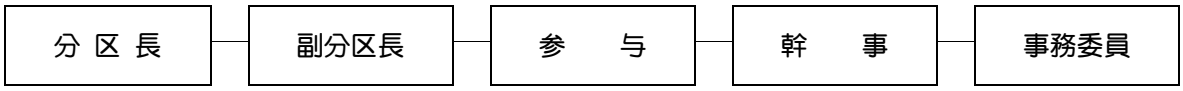
⑸ 地区（大阪市）



⑹ 地区（堺市の区・衛星都市）



⑺ 分区（町・村）



（注）

大阪市は、平成24年７月31日をもって日赤地区業務を返上したことで、平成25年４月１日から社資の受領・送金などの業務を大阪市各区の社会福祉協議会で取り扱うこととなった。

ついては、大阪市地区本部は日本赤十字社大阪府支部内に置き、大阪市赤十字奉仕団長に地区本部長を、大阪市社会福祉協議会長に地区本部長代行を委嘱した。

また、大阪市各区の地区長については、各区の赤十字奉仕団長に、各区の社会福祉協議会長に地区長代行を委嘱した。

17 大阪日赤有功会

大阪日赤有功会は、昭和45年12月、日本赤十字社名誉副総裁であられた高松宮妃殿下をお迎えしての発会式を盛大に挙行し、大阪商工会議所市川忍会頭（第18代会頭）をはじめとする23人の発起人により発足しました。現在約650人の会員を擁しています。

1 活動資金募集協力

令和２年度は、会員並びに会員の紹介者から261件、62,315,427円の活動資金を日本赤十字社大阪府支部に寄付しました。

また、昨年度の功労に対して、日本赤十字社大阪府支部長から感謝状を受彰しました。

2 赤十字活動への支援

⑴ 日本赤十字社大阪府支部所属の裁縫ボランティアの方々にマスク布地やゴム紐等を提供し、縫製いただいたマスクを生活困窮者の支援団体へ寄贈しました。

⑵ 赤十字救急法講習事業を支援するため、感染防止のために１人１体使用できるよう心肺蘇生の講習で使用する人形12体を寄贈しました。

⑶ 大手前整肢学園に、空気清浄機を贈呈しました。

3 修学奨励

⑴ 大阪赤十字看護専門学校の新入生50人に文具セットと図書「ソルフェリーノの思い出」、卒業生48人に電卓・ライト付バイブタイマーを贈呈しました。

⑵ 大手前整肢学園内の大阪府立堺支援学校大手前分校の新入生１人及び卒業生２人にそれぞれタオルセットを贈呈しました。

4　創立50周年記念事業

⑴ 大阪府内の小学校で実施している青少年赤十字活動を支援するため、国際理解・平和学習で使用する教材「世界の様子から考える『平和』って何だろう？」を作製し、3,000部寄贈しました。

⑵ 入会資格のある有功章受章者をはじめ、多くの方に当会の活動を紹介するため、入会勧奨用のリーフレットを4,000部作製しました。

5　会報誌の発行

令和３年１月に会報誌第13号を発行しました。

6　広報紙「日赤大阪」等の配付

日本赤十字社大阪府支部の広報紙「日赤大阪」並びに支部の「事業報告書」、「事業計画」、「赤十字カレンダー」を会員に配付しました。

7　総会の開催（文書審議）

令和元年度の事業報告並びに収支決算、令和２年度の事業計画並びに収支予算、常任委員及び役員の選出について全会一致で承認されました。

8　常任委員会の開催（文書審議）

⑴ 第１回（令和２年６月）

イ　令和元年度事業報告並びに収支決算について審議しました。

ロ　令和２年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について審議しました。

ハ　役員の改選について審議し、総会に諮ることを決定しました。

⑵ 第２回（令和３年３月）

イ　令和２年度事業報告並びに収支決算（見込）について審議しました。

ロ　令和３年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について審議しました。

ハ　令和３年度総会の開催内容について審議しました。

大阪府内の赤十字施設

日本赤十字社大阪府支部

住　所	〒540-0008　大阪市中央区大手前2-1-7
電　話	06-6943-0705
ファックス	06-6941-2038
ホームページ	https://www.jrc.or.jp/chapter/osaka/

大阪赤十字病院

住　所	〒543-8555　大阪市天王寺区筆ケ崎町5-30	
電　話	06-6774-5111	
ファックス	06-6774-5131	
ホームページ	https://www.osaka-med.jrc.or.jp/	
附属施設	大阪赤十字看護専門学校	06-6774-5055
	大手前整肢学園	06-6775-1900

高槻赤十字病院

住　所	〒569-1096　高槻市阿武野1-1-1
電　話	072-696-0571
ファックス	072-696-1228
ホームページ	https://www.takatsuki.jrc.or.jp/

大阪府赤十字血液センター

住　所	〒536-8505　大阪市城東区森之宮2-4-43
電　話	06-6962-7001
ファックス	06-6968-4900
ホームページ	https://www.bs.jrc.or.jp/kk/osaka/index.html

献血マップ

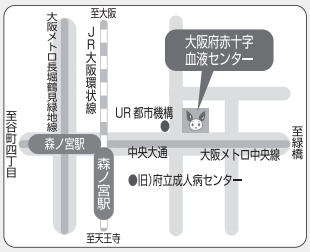
大阪府赤十字血液センター

0120-326759

大阪市城東区森之宮 2-4-43
JR 大阪環状線、大阪メトロ中央線・
長堀鶴見緑地線森ノ宮駅東へ 350m

受付時間 9時～17時
（成分献血は16時30分まで
ただし、日曜日に限り15時まで）

休日 土曜日、祝日（振替休日含む）、年末年始
※ただし、日曜日と祝日が重なった場合は
日曜日を開設します。



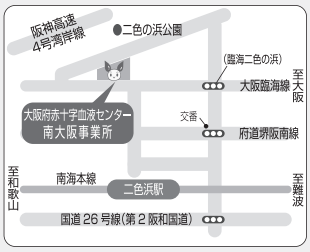
大阪府赤十字血液センター南大阪事業所

0120-736759

大阪府貝塚市沢 356-1
南海本線二色浜駅下車
西へ徒歩 15 分

受付時間 9時～17時
（成分献血は15時まで）

開設日 土曜日
（祝日、年末年始は除く）



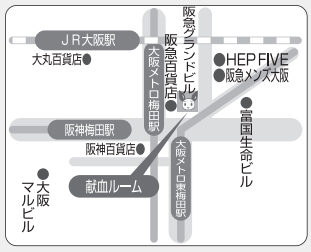
阪急グランドビル25献血ルーム

0120-376759

大阪市北区角田町 8-47
阪急グランドビル 25 階

受付時間 10時～13時、14時～18時
（成分献血は17時30分まで
ただし、土・日・祝に限り15時まで）

休日 年末年始



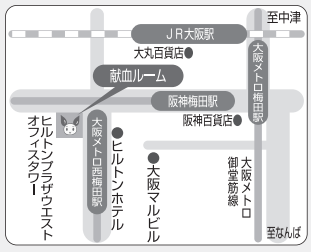
西梅田献血ルーム

0120-316759

大阪市北区梅田 2-2-2
ヒルトンプラザウエスト
オフィスタワー 10 階

受付時間 10時～13時、14時～18時
（成分献血は17時30分まで
ただし、土・日・祝に限り15時まで）

休日 年末年始



御堂筋献血ルーム CROSS CAFÉ

0120-276759

大阪市中央区西心斎橋 1-4-5
御堂筋ビル地下 1 階
大阪メトロ心斎橋駅 7 号出口より南へすぐ

受付時間 10時～13時、14時～18時
（成分献血は17時30分まで
ただし、土・日・祝に限り15時まで）

休日 年末年始

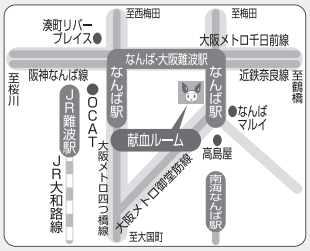
まいどなんば献血ルーム

0120-296759

大阪市中央区難波 4-4-4
難波御堂筋センタービル 4 階
大阪メトロ御堂筋線なんば駅 10 号出口直結

受付時間 10時30分～13時、14時～18時30分
（成分献血は17時30分まで
ただし、土・日・祝に限り15時まで）

休日 年末年始



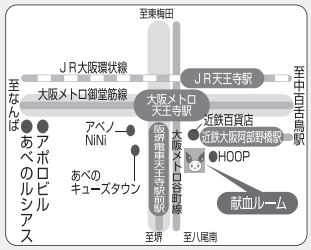
あべの献血ルーム KiZooNa

0120-366759

大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-3-21
岸本ビル 3 階

受付時間 10時～13時、14時～18時
（成分献血は17時30分まで
ただし、土・日・祝に限り15時まで）

休日 年末年始



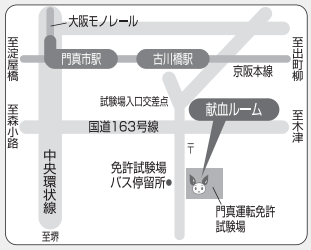
門真献血ルーム

0120-356759

大阪府門真市一番町 23-16
門真運転免許試験場 別館 1 階
京阪本線古川橋駅下車後、
京阪バス免許試験場、または徒歩約 1.2km

受付時間 9時～12時、13時～16時30分
（全血献血のみ受付）

休日 土曜日、祝日（振替休日含む）、年末年始
※ただし、日曜日と祝日が重なった場合は
日曜日を開設します。
※駐車場はありません。



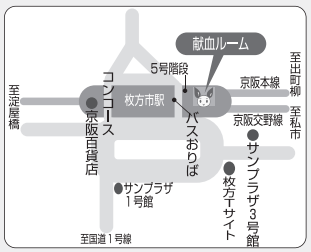
京阪枚方市駅献血ルーム

0120-336759

大阪府枚方市岡東町 19-1
京阪枚方市駅東口 1 階
5 号階段横

受付時間 10時～13時、14時～18時
（成分献血は17時30分まで
ただし、土・日・祝に限り15時まで）

休日 金曜日、第1・3日曜日、年末年始



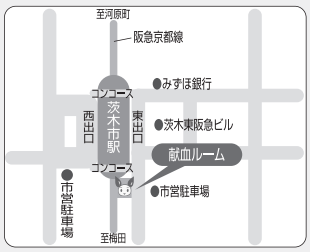
阪急茨木市駅献血ルーム

0120-346759

大阪府茨木市永代町 1-5
阪急京都線茨木市駅
ロサヴィア 1 階東側

受付時間 10時～13時、14時～18時
（成分献血は17時30分まで
ただし、土・日・祝に限り15時まで）

休日 水曜日、第3土曜日、第4日曜日、
年末年始



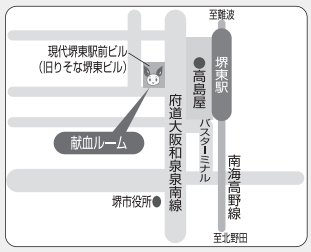
堺東献血ルーム

0120-386759

大阪府堺市堺区北瓦町 2-4-18
現代堺東駅前ビル 5 階
（旧りそな堺東ビル）

受付時間 10時～13時、14時～18時
（成分献血は17時30分まで
ただし、土・日・祝に限り15時まで）

休日 木曜日、第3日曜日、年末年始



令和２年度　事業報告書

令和３年６月発行

日 本 赤 十 字 社 大 阪 府 支 部

〒540-0008

大阪市中央区大手前2－1－7

電 話：06－6943－0705（代表）

FAX：06－6941－2038

URL：https://www.jrc.or.jp/chapter/osaka/

Facebook：http://www.facebook.com/jrcosaka/